梅沢人間力アカデミー

2016年度春季ワークショップ感想文集

目次： （１班） ｐｐ．０１ ～ ６

 （２班） ｐｐ．０６ ～ １０

 （３班） ｐｐ．１０ ～ １４

 （４班） ｐｐ．１０ ～ １９

 （５班） ｐｐ．１９ ～ ２１

 （６班） ｐｐ．２２ ～ ２５

 （７班） ｐｐ．２５ ～ ３１

 （８班） 　 ｐｐ．３２ ～ ３５

 （９班） ｐｐ．３５ ～ ３９

 （１０班） ｐｐ．３９ ～ ４４

 （１１班） ｐｐ．４４ ～ ４６

 （１２班） 　 ｐｐ．４６ ～ ４９

 （１３班） ｐｐ．４９ ～ ５２

 （１４班） ｐｐ．５２ ～ ５３

 （１５班） ｐｐ．５３ ～ ５５

 （１６班） ｐｐ．５６ ～ ５７

 （１７班） 　 ｐｐ．５７ ～ ５９

 （１８班） ｐｐ．５９ ～ ６２

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１９班）　　 ｐｐ．６２ ～ ６５

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（２０班）　　 ｐｐ．６５ ～ ６７

各班内の優先順位　　第一順位：学年、第二順位：名前の五十音

（１班）

大東文化大学　経済学部　１年　小見友也

私は４月から始まったワークショップを体験しての感想は、２点あります。

１点目は、交友関係が増えていくのが嬉しかったということです。私はサークルをいくつか掛け持ちをしているのですが、この社会人交流では交流する幅がとても広く同じ年でもここに入らなかったら関わる機会がないなーという人たちと多く関わることができました。そのおかげで話し合いや普段の会話の中で、自分では思いつかないような考えが出てくる時が多くなり、新しい考え方が生まれ以前とは少し違った見かたや考え方が出来るようになれました。また、班のメンバーとは報告会へ向けての作業で一緒にいる時間が多かったので、作業以前よりも凄く仲良くなることが出来ました。たまに辛くなることもあったけど、活動の一つ一つが心の底から楽しめたのは班員のおかげだと思うので、この出会いをもっと大切にしていきたいと感じました。

２点目は、自分なりに少しずつ成長が実感できたことかなと思います。私は、人前に出て発表することや、話し合いの場で自分の意見を述べるという行為が苦手でした。しかしこのサークルに入ったからには、その２つのことは避けては通れません。苦手なものなので初めから上手くはいきませんでしたが、先輩からのアドバイスや意見を述べる機会を与えてくださったおかげで改善してきました。ただし、まだ発表の場だと緊張しすぎてしまい先日の報告会では私が最後締めるところ、文を詰まってしまい、締まりきらなかったことは心残りがあります。今後さらに多く発表の場があると思うので、そこでは詰まらず言えるよう努力していきたいと思いました。

なんとなくで入った社会人交流会ですが、今のところは入ってとても良かったなと思います。活動やみんなとの交流が楽しいうちは続けて、なるべく多くの時間をこのサークルで過ごしていきたいです。

大東文化大学　経営学部　１年　小菅美咲

この春季ワークショップを通じ、班活動のグループディスカッションにおいて特に成長したことがあります。それは、「相手の話を聞き、否定しない」という事です。私はある一年生とディスカッションの場で激しく意見を言い合ったことがあり、そのせいで議題が進まなくなってしまったことがありました。あの時、互いに意見を否定せず受け入れていれば話し合いがより進んで良い意見が生まれたかもしれません。以降の話し合いで、私は相手の意見を聞き、受け入れることを心がけました。そうしたことで、相手の言いたいことが冷静になって理解出来るようになりました。なので、今回学んだ「相手の話を聞き、否定しない」ということを今後も続けていきたいです。

そして、このワークショップにおいて感じた課題が二つあります。

一つ目は、「周りの状況を把握する」ということです。報告会の原稿やパワーポイントの作成中、同期の１年生は他の１年生に進捗を尋ね、そしてアドバイスを求められればそれに応じ、手助けをしていました。一方、私は周りの状況を把握出来ずに自分自身の作業で精いっぱいでした。周りの状況を把握出来れば、優先順位が分かりお互いに協力して作業を早く進める事が出来ます。今後は、周りの状況に関心を寄せることを心がけたいと思います。

二つ目は、「自分の伝えたい事を過不足なく伝える」ということです。私は、伝えたいことを頭の中で箇条書きにし、それを話すようにしています。しかし、いざ伝えるときに緊張してしまい、途中から自分が何を話しているのか分からなくなってしまいました。なので、話す際には落ち着き、自分の伝えたいことを一つずつ順序だてて、頭の中で確認しながら話すことを今後実行していきたいと思いました。

最後に、私達一年生をずっと支えてくれた先輩方に感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。そして、このような貴重な機会を与えてくださった梅沢先生に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

大東文化大学　外国語学部　１年　柴美沙貴

私は今回の報告会を通して学んだことを２つに分けて述べます。

１つ目は「仲間の大切さ」です。先輩方に指導をしてもらい、班員と何度も話し合った結果、社会人の方々のお話を聞いて学んだ「積極的に行動をすることの重要性」「自分を知ることの重要性」「人脈をひろげることの重要性」の３つの学びを得て今後すべきことは何があるのかと意見をまとめることができました。仲間がいたからこそ、よりよい意見を出すことができ、無事に報告会を迎えることができました。発表前に班員で円陣を組んだり、先輩方に励ましてもらったり些細なことがすごく嬉しくて皆でやってきて本当によかったです。

２つ目は、「何事も挑戦することの大切さ」です。私は、人前で話すことが苦手です。しかし、今回報告会で前に出ることにより、少し自分に自信をもつことができました。自分の苦手なことを克服するために「次は堂々と話していきたい。もっと、噛まずに話したい。」などいろいろ目標をもつことができました。

今回のワークショップ報告会を通して、他にも多くのことに気づきました。入学前の私と報告会後の私では、少しは成長できたと思います。これからの活動も精一杯頑張っていきます。

大東文化大学　経営学部　1年　醍醐結

自分がワークショップを通じて学んだことは「今、すべきことを全力で取り組むこと」です。

大学に入ってから、将来のためにできることをがんばろうと意気込んでいた私ですが、やることは資格の勉強をすることと大学の授業を頑張ることだけでした。社会人交流会に入り、ワークショップを通じて先輩方の話を聞いて、自分がいますることはたくさんあると思い知らされました。１つ目に、自己分析をすることです。自分を見つめなおすことで自分に足りないものが出てきました。自分は極度のあがり症で、恥をかくのが嫌で、発表することが嫌いでした。だからいつも発表などをする機会があっても自分から逃げてしまいした。しかし先輩方を見て、堂々と前で発表をしている姿がかっこよくて、自分もそうなりたいと感じました。これからは発表する機会に逃げないで自分の意見をしっかりと言っていこうと思います。2つ目に、人脈を広げることです。今まで先輩方とかかわる機会があったにもかかわらず、自分から積極的に話しかけたりしたことはありませんでした。なので、先輩方と長くかかわることはありませんでした。また同期とも将来について真剣に語り合うことや本気でぶつかり合うこともなかったので心から信頼できる友人はわずかしかできませんでした。しかし社交の先輩方を見て、ほんとに仲がよさそうで、お互いに信頼、尊敬しているのをとても感じました。自分も社会に出てそんな関係でいられる人を作りたいと心から思いました。これからは、自分の素を出し、本気で先輩や同期と話し合うことでそのような関係を作っていこうと思います。3つ目に、まず何事にも取り組んでみることです。今まで「この本読みたいな」や「このチュートリアル話聞きに行ってみたいな」と思うだけで取り組むことはあまりありませんでした。やってみたいと思うだけで結局自分から動かなかったのです。しかし先輩方の話を聞いて、取り組まなければなにも始まらないことを学びました。先輩方は自分で考えて、自分で行動して、成功や失敗を繰り返して、そのうえで多く学んだとおっしゃっていました。自分もその通りだと思いました。だから、これからは自分が興味をもったものにはまず取り組んで行こうと思いました。この三つを取り組むことで自分はもっと成長できると思います。大学四年間はきっとあっという間で、その中でも今できることは全力で取り組んでいこうと自分は考えました。社会人交流会の活動はほんとに楽しくてこれからも先輩、同期のみんなと続けていこうと思いました。

大東文化大学　経済学部　1年　土田瑞貴

 W.Sの前の自分は受験に失敗したことで大東文化大学に入学したことにより、将来を積極的に生きていけるか不安であり就職難の中、いま何をするべきかわかりませんでした。

しかし、W.S後ではそんな気持ちも前向きに変化したような気がしました。

特に印象が残っているのは第一回の川股様、藤巻様。第二回の吉田様。第三回の遠藤様。第五回の橋本様。第十回の峯川様でした。そして、先輩方の話から「積極的に行動する」、「自分を知る」、「人脈を大切にする」の３つが重要だと思いました。

「積極的に行動する」は橋本様や藤巻様の話からフットワークを軽くし、自発的に考えて何事にもチャレンジすることが大切であると分かりました。その行為の結果、成功すれば自分に自信を持つことができ、失敗しても原因を考え、分析することで自分が何をどうすれば良かったのかを知ることができる良い経験が得られると思いました。

　「自分を知る」は川股様や遠藤様の話から、自分の長所と短所を探し、才能とそれを発揮できる場所を探すことが大切であると分かりました。グループワークなど活動を通して経験を増やしていき、その過程で自分と相手の違いを見つけることで自分の長所と短所を認識することが大切であり、そのためには自分をより客観的に知ることが必要なことだと思いました。「人脈の大切さ」は吉田様や峯川様の話から相手の気持ちや考えに寄り添うことで人間性を理解し、価値観を共有することができることが分かりました。自分たちは価値観を共有した仲ならば気軽に冗談で笑い合い、ときには本音をぶつけ合うような存在になることができると思いました。また、社会へ出てからもそのような信頼できる仲間で励まし合い、助け合うことでお互いの成長へ繋がることができると思いました。

　自分たちがW.Sでたくさんの貴重な経験を得られたのは大切な時間を割いてくださったOB、OGの先輩方、多くの時間をかけて丁寧に指導してくださった先生や先輩方、お互いに支え合い高め合った同期の人たち、恵まれた環境にあるこのアカデミーに深く感謝します。

大東文化大学　法学部1年　中田崚介

今回のワークショップを振り返って、今までにはない様々な学びを多く得ることが出来ました。

特に印象に残っている講師の方々の言葉を２つあげるとすれば、藤巻様の「高学歴の人には負けたくない！」、遠藤様の「自分という乗り物を乗りこなすために経験値を増やせ！」です。藤巻様のこのお言葉は、受験に失敗し劣等感に苛まれていた自分に共感できるものがあり、とても印象に残りました。遠藤様のお言葉からは、経験をすればするほど多くの情報、価値観を得ることが出来、自分を向上させるには、より多くの経験が不可欠だと感じました。

また、二か月前の自分と対比して、何も目標もなくただただ時間が過ぎていくだけのあの頃よりワークショップを通じて、少しですが自分が変われるきっかけを掴むことが出来たと感じています。そして、大東文化会館という大きな場所で発表することで自分の自信にもつなげることが出来ました。

班活動などを通じて、信頼できる同期、尊敬できる先輩を見つけることが出来、毎日のように集まって原稿やパワーポイントを作成してきたので、これからこの班の活動が少なくなるのが少し寂しい気がします。

最後に、今回、とても貴重な経験がすることが出来ました。この経験を生かして今後の自分の成長に役立てていきたいと思います。

大東文化大学経営学部1年　野辺将太

ワークショップでは様々な社会人の方々のお話しを聞くことができて、本当に素晴らしい経験をすることができました。

私が今回のワークショップや班の活動の中で1番深く思ったことは先輩方や同期の存在の素晴らしさです。私は予定が合わずあまり多くの社会人の方々のお話を聞くことができませんでしたし、パソコンも苦手でした。ですが、報告会へ向けての準備の中で班の先輩方や同期たちが私の参加できなかったときのワークショップではどんなお話があったのか、どんなお話が印象深かったのか、さらにはパワーポイントの使い方まで丁寧に教えてくれ、おかげで私もディスカッションやパワーポイント作成の作業に参加することが出来ました。そのため先輩方や同期のありがたさ、大切さが本当によくわかったように思え、それだけでもこの社会人交流会、梅沢人間力アカデミーに参加して良かったと心から思うことができました。

またワークショップでは様々な経験ができたので私自身、成長することができたのではないかと思います。具体的には私は今まで他人の意見というのはないがしろにしがちでした。しかし班の中でのディスカッションを通して他人の意見を聞くということは非常に大切であるということが実感をもって理解できました。

大東文化大学　経営学部　1年　村上華菜

私は春季ワークショップを通して、社会人の方々から多くのことを学びました。私はこのサークルに入る前、将来について漠然とした不安がありました。このまま目標もなくダラダラと過ごしてしまうのかと不安に思っていたとき、このサークルの存在を知り参加することを決意しました。私は人前で話すことや自分の意見を述べることが苦手で、いつも失敗を恐れては行動することが出来ずにいました。しかし、このワークショップを通じて自分の考えを相手に伝えることの大切さを知り、ディスカッションのときなどに積極的に意見を述べる姿勢を身につけることができました。そして、些細なことでも目標や目的をもって行動することにより、将来に対して前向きに考えられるようになりました。また、班活動を通じて縦と横のつながりの大切さを感じることができました。パワーポイントや原稿の作成など、何も分からない私たちに一から教えてくださった先輩方に頼もしさを感じ、班活動や食事会で苦楽を共にした同期たちと信頼関係を築くことができました。私は吉田様の”未来は過去につながっている”というお言葉が特に印象に残っています。自分次第で未来を変えることができるとおっしゃっていたので、まずは目の前のことから全力で取り組んでいきたいと思います。そして、サークル活動などに積極的に参加し、夏合宿に向けて準備していきたいと思います。

（２班）

大東文化大学　経済学部　１年　淺沼健弥

私にとってのこの約１カ月のＷＳというものはとても貴重な経験でした。様々な社会人たちの話はどれも重要なことであり学ばされることがいっぱいでした。アカデミーで役立ち就職で有利に臨めた話などは私にとってより一層やる気にさせてくれる言葉でした。又場数を踏むという大切な言葉はこれからも一生忘れることなく実践していくものとなるでしょう。アカデミーを続けてきて自信がつくようになり自分にとってアカデミーはかけがえのないもので財産となったという言葉が印象に残りました。自分はなんとなく始めた社会人交流会でしたがこの言葉を聞き社会人交流会に本気で取り組もうという決心にもつながりました。自分もこれからも続けていくにあたりかけがいのないもので財産になったと言えるよう取り組んでいきたいと思いました。どの先輩方も言っていたことはつながりをたくさんつくることと目標をつくるというものでした。つながりができていけば様々な経験ができ様々な考え方と出会える将来必要になることが見つかるかもしれません。目標はつくることでそれを達成したとき大きな自信となりさらに高い目標を作ることができ自分を大きく成長させてくれる、そう感じました。改めてＷＳは私にとってとても貴重な経験となりました。

大東文化大学　国際関係学部１年　浦部敬太

今回の春季ＷＳをふりかえって、率直な私の感想は「本当にありがたい」という言葉でまとめられます。ＷＳ開始当初、私は、「面倒くさい」、「長時間話を聞くのが辛い」などと、ＷＳ参加に対し消極的な態度でおりました。しかし、回数を重ねるにつれ、私の中で大きく心情変化が起こりました。それが「ありがたい」という感謝の気持ちへの変化です。直接お話ししてくださる先輩社会人の方々に対しての感謝。優しく指導してくださった班の先輩、同期への感謝。そして何より、普通の大学生活の中では決しては学ぶことのできないことを教えて頂いた、社会人交流会（梅沢人間力アカデミー）への感謝。この２か月間を通し、私はかけがえのない多くの経験をさせて頂きました。

今回、私は計８人の先輩社会人の方々からお話を伺いましたが、どの先輩方も「この社会人交流会（梅沢人間力アカデミー）を続けたからこそ、今がある。」などと仰っていました。社会人交流会（梅沢人間力アカデミー）の中で、先輩方の学ばれたことにそれぞれ多少の違いはありましたが、このアカデミーの中で学んだこと、経験が今の先輩方の「人間力」につながっているのだと痛感しました。私も大学生活４年間、この社会人交流会（梅沢人間力アカデミー）で「人間力」を磨きたいと改めて思いました。

大東文化大学　法学部１年　及川真子

私は春季WSに参加して２つの学びと１つの感謝があります。１つ目は順序立てて話すことの大切さを学びました。私は人前で話すことは苦手ではありませんが、話に起承転結をもって話すことを苦手としています。吉澤歩美さんが話すことを簡潔にまとめてから話すと仰っていてこれから人前で話す機会があれば実行していきたいです。２つ目は人との話合いを進行することやまとめることの難しさを学びました。自分は高校時代に生徒会に所属して進行役をやっていたので多少は大丈夫だろうと思っていました。いざ、１年生でディスカッションをしていてなどと言われると思うように進まなかったり、人の意見をまとめていくっていうことがとても難しかったです。これから自ら進んでそういう役を買って出ていきたいです。今後は２つの学んだことと報告会で実行すると発表した意思疎通を大切にする、自ら進んで行動する、当たり前のことを当たり前にこなすということを目標に頑張っていきたいです。

２班班長北村健人さん、萩原麻友さん、湯浅充さん、須田佳奈恵さんにとてもお世話になり、たくさんのことを指導して頂きました。２班はTTという方がいないと聞いたとき大丈夫なのかなと不安に思ったこともありますが、それを感じさせないくらい先輩方が頑張っている姿を間近で見ていて、素晴らしい先輩のもとで活動できたことを心から本当に良かったです。感謝の言葉は言い尽くせないほどありがとうという気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これが１つの感謝です。

大東文化大学 法学部 1年 金子舞美

ワークショップでは先輩方の為になるお話をたくさんお聞きすることができました。先輩方の大学での過ごし方や、それによって得られた先輩方のアドバイスなど、どれも私たちにとって大切なものばかりで、これから実行していこうと思うことができました。

その中で、私は特に川股慎太郎様の「この瞬間を活かすも殺すも自分次第」というお言葉が印象に残っています。このお言葉は全てのことの土台になると感じ、自分の行動によって良い方向にも悪い方向にも向かうことができるという様に考えました。この川股様のお話しから、自分にとってプラスの大学生活を送るためにも常に目標を持って過ごしていきたいです。

また、ワークショップ報告会では登壇することが出来ませんでしたが、班のメンバーが堂々と発表している様子を見て、登壇したかったという気持ちが強くなり、それと同時に次自分が登壇する時には頑張ろう、という気持ちになりました。同じ場所に立っていたはずが出遅れてしまったと思うので次回の活動にはもっと積極的に参加し、進んで意見を述べることを心掛けたいと思います。

最後になりますが、私たち1年生にとって今回がアカデミーでの初めての活動で不安なことばかりで右も左も分からなかった中、班の既存生の方々はとても優しく、フレンドリーで、いつも私たち1年のことを優先してくださり毎回楽しく活動することができました。今の自分には程遠いですが、先輩方を見習って、吸収し、自分のものにできるよう、また、少しでも先輩方に近づけるよう、これからのアカデミー活動に参加して行きたいと思います。

大東文化大学 経済学部 1年 塩田航大

初めてのワークショップを体験してみて色々な先輩方の話を聞くことができました。その中でも1番印象に残った小林航さんの事を言いたいと思います

小林航さんの目標となる人ができたのと楽しい事もあるがそれの2倍ぐらい辛い事がありそれを乗り越えることで本当の仲間になれる

なぜその言葉が印象に残ったか目標となる人を設定する事でそこを目標としてしっかりと努力ができるからあと他の人は結構社会人交流会に入ってプラスの事を述べていたが渡辺さんはマイナス面も述べていてそこをどう乗り越えていくかも明確な事も言っていたので特に印象に残りました。

その言葉を聞いてまず自分の目標となるものと目標となる先輩をしっかりと見つけて目標に一歩でも近づくためにどのように努力するか考える！！

かけがえのない仲間を見つけるために楽しい事もそうだがそれよりも辛い事を乗り越えら

れるような本当の仲間をこのサークルで作っていきたいと思いました！

このワークショップは自分にとってとても良い経験になりました！

大東文化大学　経営学部　1年　高橋陸

私が春季WSの活動を通じて感じたことは、目標を持ち、積極的に活動をしていく中で経験を増やしていくことでビジネスマナーなど社会に出てから役に立つことがたくさん身につくのだと思いました。中でも私が1番印象に残ったのは、藤巻様のお話です。班の中

では「地位と環境が人を変える」という言葉に多数が同意していましたが、私は藤巻様の普段の大学生活やアカデミー活動での取り組みに対する気持ちが生半可でないと感じました。それは大学入試失敗という挫折を味わったからだと思います。高学歴の人に負けたく

ない気持ちを常に持ちながら努力をし続けたからこそ、学校の成績も優秀であり、旭化成さんの内定を勝ち取れたのだと思います。そんな藤巻様は同じく大学入試に失敗し、同じ考えを持っていた私にとって、目標とする先輩であり、超えなくてはならない先輩であります。このアカデミーは普段の大学生活では経験できない事を経験する機会がたくさんあるので、今回のWSで学んだことを活かして今後のチュートリアルやインターンシップなどに取り組み、自らの成長に繋げていきたいと思います。そして、先輩や同期との繋がりを大切にし、切磋琢磨していける関係を作っていきたいと思います。

大東文化大学経営学部　１年　當麻雄一朗

私は社会人交流会に入りWSの活動を通してたくさんのことを学びました。

まず一つ目は人脈が広がりそこから得たものがありました。社会人交流会はとても人数が多いのでたくさんの人と関わることができました。人が多ければ多いほどいろいろな考えを持った人が集まります。人間なので大人数が集まると意見の食い違いが出てくることは仕方がないことだと思います。正直な話自分もそういった人と出会った経験があります。今回のWSの活動でそういう人とどう付き合っていくかが大事だと思いました。例えば仕事仲間や会社の上司といった必ず関わらなければいけない人とうまくいかないことがあるかもしれません。そこであの人とは合わないの一言で片づけるのではなく自分なりの接し方でうまく付き合っていくことが大切だと思いました。

二つ目は目標をもって行動することの大切さです。大学は高校や中学の時と違ってとても大きいし人数も多いです。そして担任の先生などの指示を出してくれるひともいないので自分から動いていかないと本当に何にもない４年間になってしまいます。そこで日頃からどんなに小さなことでも目標をもって行動していきたいと思いました。

大東文化大学　法学部１年　八巻星

私がワークショップに参加して社会人の方の話を聞いてまず印象的だったのは、社会人の方の話し方です。どの方も堂々と話をされていたのが印象的でした。私は人前で話をするのが苦手で報告会の時も緊張してしまい、下を向いて発表してしまいました。社会人の方の話では社会人交流会の活動を通して人前で話せるようになったとおっしゃっていました。この話を聞いて、私も四年間の活動を通して先輩社会人の方のように堂々と話せるようになりたいと思いました。

報告会にむけての準備では、班の先輩方はやはりすごいと思いました。私が文章が思いつかなくて悩んでいると一緒に文章を考えてくださり本当に助けていただきました。先輩方には本当に感謝したいです。

私も来年は先輩という立場になるので、先輩方のように後輩に頼りにされる先輩になりた

いと思いました。報告会では、大勢の人の前での発表で緊張しました。他の班の発表ではどの班もすごいと思う発表ばかりでしたが、特に19班の発表が印象的でした。写真を取り入れていて興味を引かせる内容ですごいと思いました。これからも社会人交流会での活動に参加し、就職に生かせるようにしたいです。四年後、今度は私が先輩社会人として話をしたいと思いました。

大東文化大学　外国語学部　１年　山本 大聖

今回初めてワークショップに参加させていただき、様々な先輩方のためになるお話を聞

かせていただくことができました。その中でも一番印象に残っているのは小林航さんです。

私は、小林さんの「いろいろな経験をする。」という言葉がとても印象に残りました。

その理由は私が社会人交流会に参加した理由と、とても深いつながりがあると感じたから

です。小林さんはなんでも経験してみないとわからないとおっしゃっていました。その言

葉は、将来に不安を感じる私にとって非常に考えさせられるお言葉でした。なぜなら、な

ぜ私が将来に不安を感じるかということを考えたところ、将来のことに関して何もわから

ないからだとわかりました。そのためこれからの社会人交流会の活動にも活発的に参加し

て、将来について様々なことを学び、経験していきたいです。他にも「失敗をすることの方が学ぶ事が沢山ある」というお話です。

このお話はとても納得できるものでした。私も今までの人生を思い返してみるとさまざま

な失敗をしましたが、成功したことよりも失敗したことの方が強く記憶に残っており、と

ても納得できるお話だと思いました。このようなとてもためになることに気づかせていただくことができ、学び深い経験ができました。これからもワークショップだけでなく、様々な行事に参加し将来につなげていきたいと思います。

（３班）

大東文化大学 経済学部 1年 飯塚春稀

このワークショップに参加できてとてもいい経験になったと思いました。

普段聞けない社会人の方の話を聞いて自分に足りなかったことやお話しを聞いて初めて気づいたことがたくさんありました。

正直、最初は活動に参加するのが面倒くさくて全部の講演会に参加することが出来ませんでした。しかし、報告会で班のみんなが壇上で発表している姿を見て、私もちゃんと出席していればよかったなと後悔しました。今度のグル研では後悔しないように、まずはしっかり出席し、何事にも全力で取り組み、壇上で発表できるようにしたいです。またワークショップを通して班の先輩方のいろいろな経験談を聞けたり、報告会に向けての準備のために班で集まって話合うことが増えたりして、先輩や同期と仲良くなることができたのでよかったです。

大東文化大学 外国語学部 1年 石井瑞紀

ワークショップに参加して私は様々なことを経験することができました。最初は本当に面倒くさくて、入ったことをとても後悔していました。なんでわざわざ板橋にある大東文化会館に、しかも土日に行かなければならないんだと思っていました。しかし参加してみると、OG、OBの方のリアルな話が聞けてとてもためになりました。それも成功体験ばかりではなく、失敗談やそこから学んだことなど、自分が想像していた以上の話を聞くことができました。

また、ワークショップ班でのディスカッションでは、自分より意識の高い同級生や先輩方の意見を聞いたり、その意見について自分の意見を述べたりするなど、活発なディスカッションをすることができました。ふつうに大学の授業を受けるだけではなかなか触れることのない他学部、他学年の方の意見を聞けたのは私にとってとてもいい経験になりました。

私は人見知りで、班などの環境に慣れるのが少し苦手なのですが、先輩も同級生もとても気さくで、最初はなかなか話せなくても先輩が企画してくださったイベントなどを通して仲良くなることができました。この班で活動できてよかったです。ありがとうございました。

大東文化大学 経済学部 1年 加藤篤

私はWSを経験して自分の意識が変わったように思えます。

大学に入ってすぐの私は受験から解放された事もあり将来や大学の勉強などを自分の都合の良い様に解釈してあまり考えない様にしていました。

しかし社会人交流会、WSを経験して自分の中で物事に真摯に取り組む姿勢や物事をポジティブに考える様になっていきました。

アルバイト一つ取ってもただお金を稼ぐのではなくお客様に対する姿勢が前向きになりました。そのかいもあり日々のWSに対する姿勢も前向きになっていくのが自分でもわかりました。それからは些細な言葉や行動に気を使い、周りの人の話をよく聞くなど人との繋がりを大切にする事が出来るようになりました。

この様な考え方が出来るなんてこれまで思ってもない事でこれも全て社会人交流会で貴重な時間を過ごし、素敵な先輩、仲間、梅沢先生に出会えたからだと思います。先輩たちは少しでもより良い発表を作ろうと食事会などのイベントを企画して交友の架け橋になってくれましたし、みんなの良いお手本として私たちを引っ張ってくれました。仲間たちとは心の底から話し合うことはもちろん切磋琢磨して活動する事ができました。この様な経験をこれからの糧にしてこれからの大学生活をより良いものにできる様日々精進して行きたいと思います。

大東文化大学 文学部 １年 小池敦大

最前列の席から3メートル前方、1メートル程高いステージの上から降りた時、私の心は達成感で一杯でした。思い返せば4月の初め、私は不安と後悔を抱えてこの学校へ来ました。自身の未来に暗い影を感じた私は、このサークルの就職率100パーセントという言葉に心ひかれたことを今でもはっきりと覚えています。そしてこのサークルに所属すること早2ヶ月たちましたが、この2ヶ月は私に就職率100パーセントが本当であることを確信づけるのに十分な、濃密な2ヶ月でした。

この2ヶ月の中で1番大きいと感じたことは、多くの人と触れ合い話しを聞けたことです。梅沢先生が毎週して頂けるお話、社会人の方々が大学で学び社会に活かせたことなどを聞けたのはもちろんのこと、班の尊敬出来る先輩方、素晴らしい同期と共に悩み考えながらディスカッションし、1つのものにまとめることはとても大変でしたが、皆の考えを聞くことが出来、とても貴重な経験でした。そして発表当日、私はリハーサルもしていたので、大丈夫だと思っていました。しかし、そんなに簡単に行くはずもありませんでした。マイクを持つ手は震え、足は固まってしまいました。それでも最後までやりとげることが出来ました。この出来たという結果と気持ち、そこに至るまでの経験は頑張ったからこそのものなのだと思います。私はこの先、その時の感動を忘れることなど出来ないと思います。また、先輩方から「良かったよ。」とお褒めの言葉を頂き、とても嬉しかったです。今まで失敗ばかりの私でしたが、見てくれる人がいるありがたさを実感し、とても心に来るものがありました。発表の内容通り、前向きに生きて行くことが出来そうだと私は感じました。

　私は今、このサークルでどのような未来が待っているのか楽しみで仕方ありません。辛いことも楽しいことも全ては未来の自分へ繋がる糧として、私は今日も自らの歩みを進めて行こうと思います。

大東文化大学 経済学部 島嵜　健

自分は今回のワークショップ活動に参加するまでは、ただ面倒で成功した人の話を聞いたところで自分には何も意味がないと思っており、全くやる気がありませんでした。しかし、友達の誘いから第３回目の遠藤様のお話しに出席したところ、今までの自分の考えがどれだけ間違っていたかに気付きました。自分は講演会をする方々は、それなりに努力するだけで成功して失敗なんてほとんどしておらず、自分とは棲む世界が違う方々だと考えていました。ですが、みなさん大きな失敗を経験し、果てしない努力の結果で今の地位を築き上げた方ばかりで驚きました。スタート地点は自分と変わらないではないかと思いました。だが、自分と違うところは失敗や嫌な経験をしたときに、何がだめだったのか、他にできたことはなかったのか、次に起きた場合どう行動すれば良いかまで正確に考察し、自分を成功に導けるようにしていたことです。また、自分は物事をネガティブに考えがちでうまくいかないことも多かったですが、やりたいと思ったことがあるならば自分から積極的に行動し前向きに考えていくとなんでもうまくいく気がして、今までの自分から少しずつ変わってきていると感じています。まだまだ未熟なところばかりですが、素晴らしい先輩方の後ろ姿から多くのことを学び、成長の糧にしていきたいと思っています。

大東文化大学 国際関係学部 １年 谷津圭祐

春季ワークショップを終えて、一番印象に残ったことは、遠藤様が仰っていた「自分の才能と、その才能を発揮される環境を知っていたから」という言葉です。私は、知識が豊富で高学歴でないと人生の成功という幸せを手に入れるのが不可能だと思い込み、そのため猛勉強さえしていれば何とかなると思っていました。だがしかし、遠藤様は、「誰かの役に立ちたい」という思いから、時間と思いを注ぐことで、目上の人が絶好の機会を用意してくれるということを自ら見つけ出し、幸せを手に入れることができたという人生経験がありました。それは、私の考えと１８０度違ったものでした。勉強だけでは身につけないことがたくさんあり、そして、自分の持っている得意なことを最大に生かすことができれば、きっと幸せをつかめると思いました。

　ワークショップで先輩方の話を聞いて、自分を新たに見つめ直そうと思いました。今、自分は何がやりたいのか。そして、今考えている自分の進路は合っているのかを考え直そうと思いました。

最後に、私は現在、教職を取るか、一般企業に就職するかを悩んでいます。今回のワークショップでのOB,OGの皆さま、先輩方の話を参考にして、今後の自分を見つめ直し、自分に合った進路を探していきたいと思います。そして、大いなる幸せをつかみたいです。

大東文化大学 外国語学部 １年 鳥海美優

私はワークショップを終えて、最初の頃の気持ちと今とでは全く違ってきたと思います。最初の頃は、入るサークルを間違えたとさえ思いました。私が社会人交流会に参加しているのに対して、友人が放課後や休日を自由に使い遊んで過ごしているのをみて、何故私は入学してそれほど時間も経っていないのに、もう就職のことを考えなければいけないのか分かりませんでした。

しかし、ワークショップの回数を重ねるに連れて班員の人と意見を交えるうちに活動への意欲が上がっていることに気づきました。特に遠藤菜摘様の仰っていたお話は、辛い事などがあった時に学んだ事を思い出し、私のやる気を奮い立たせてくれる程印象に残る回となりました。このような経験はこのサークルに参加していなければ、得る事が出来ていなかったと思います。また経験した事は、お話を聞く事だけではなく、ワークショップを通して自分の意見を発信していく自信が付き大学生活の目標を見つける事が出来ました。このように自分にとって良い経験ができたのは、先輩や同期の存在が大きいです。困った時は親身になって話を聞いてくれ、私の発言にもしっかり耳を傾け聞いてくれる先輩方、班員たちがいたからこそ、少しずつではあったのですが成長することができました。

このサークルを通して、たった2ヶ月で変化を実感できた事に驚いています。だからこそ、卒業時にどれだけ自分自身が変わっているか創造すると、とても楽しみです。これからも積極的に活動に参加して、その活動での経験を糧として就職に臨むために努力していきたいと思います。

大東文化大学 外国語学部 １年 橋本風香

 私はWSに参加したことで様々なことに気づき、学ぶことができました。その全てを挙げることはできませんが、一つ一つの話が刺激的で、より自分のためになる新しい考えがたくさん詰まっていました。全体を通して学んだことを社会人の方々の言葉を借りて述べようと思います。

 まず印象に残った言葉は、野中様の「夢がないのは自分を見つけられていないから」という言葉と、遠藤様の「自分の才能と、才能が発揮される場所を知っていた」という言葉です。私は今、叶えたいという強い意志がこもった夢はまだありません。そして野中様の「夢がないのは自分を見つけられていないから」という言葉を聞いて、まさしく自分はそれだと思いました。私はいつも他人に流されやすく、あまり自分の意見を持っていません。それで時々、自分がどういう存在なのか分からなくなることがあるのです。自分は中身が空っぽですぐに他人の色に染まってしまうつまらない人間だと思います。そんな自分を変えたいと思うのですが、野中様の話を聞いてこのままだと夢が見つけられないのではないかと、焦りを覚えました。そして自分を見つけるにはどうすればいいのかという疑問が浮かびました。

その疑問に対しての答えは多くの社会人の方々が述べていました。簡潔に言うと、「行動を起こす」です。倉田様が仰っていたように「能動的に行動する」、橋本様が仰っていたように「何事もまずは実行」この２つのお話からの学びを活かし行動することで、何もしなかった時よりも自分を見つけることができると思いました。今までは初めてのことや苦手意識のあることとなると、失敗するのを恐れ、挑戦しないまま逃げることがありました。しかし、新たなことに挑戦することで新たな自分を発見することができ、失敗したとしても必ず自分のプラスになると気づきました。

 これからは何事にも挑戦して、失敗や成功を重ねる中で自分の長所、短所を知り、遠藤様のように自分の才能を見つけ、その才能が発揮されるような夢を持ちたいと思いました。

大東文化大学 外国語学部 1年 吉村瑛奈

私は今回のワークショップを通して、魅力的な講師のお話をお聞きして、講師の方々はこの社会人交流会の活動などを通して充実した大学生活を送っていたのだと率直に感じました。

だからこそ私も大学生活四年間を充実したものにするために、今回のワークショップで学んだことを実行していきたいです。

私は、今回のワークショップでは多くの気づき、学びを得ることが出来ました。

そして気づいたことは二つあります。まず一つ目は、ワークショップで講師の方に質問をすることができなかったことです。二つ目は、もっと班活動に積極的に参加するべきだったということです。

この二つの気づきには共通して、自発的な行動ができていなかったということです。この気づきから自分から行動しないと変われないことを学びました。だからこそ、私はこれからはもっと積極的に行動していきたいとと思います。

社会人交流会に入っていなかったら、今回の報告会のような大勢の人の前で発表をする、パワーポイント作るという機会はなかったと思うので、貴重な経験ができて本当に良かったと思います。

また、報告会の準備や報告会を通して、意識の高い同期や頼もしい先輩方の姿を近くで見て、とても刺激になったと共に、自分も来年は後輩から頼りにされるような人になりたいと思いました。

そのように思えるようになったのも3班で和気藹々と密度濃く活動することが出来たからだと思います。

最後に、このような機会を与えてくださった梅沢先生や講師の方、また、添削やパワーポイントの作り方などを丁寧に指導してくださった先輩方、本当にありがとうございました。

（４班）

大東文化大学 経済学部 1年 雨谷遼

WSで社会人の話を聞き人と人との繋がり、自ら積極的に行動することの大切さに気付きました。WSに参加する前は自ら行動せず、班の人とも仲良くしようとしませんでした。

WSに参加した後は、積極的に班の活動に参加し班の人とも仲良くしようと思うようになりました。そのおかげで自分の欠点を直すことができ友達も前よりたくさんできました。前まではつまらなかった大学生活が今では毎日がとても充実しています。この短期間で色々なところの見方が変わり、自分でもびっくりするぐらい成長できたと思います。これからの活動も積極的に参加し自分の欠点を改善していき同期や先輩ともっと仲良くしたいと思います。

大東文化大学 法学部 1年 内野加菜

WSを通して社会人の方のお話をお聞きして、人脈は財産や目標をもって行動することの大切さなど、今後の人生に活かせる様々な学びがありました。そして、班の中で話し合うことで学びについて順を追ってよく考えることができました。また、同じ人のお話でも自分とは違う捉え方をしている人もいることが分かり興味深かったです。なにより4班は和気あいあいとした感じでとても楽しく活動できたと思います。私は人前で話すのが苦手だったのですが、今回アカデミーで大勢の人の前で話す機会を頂きとても良い経験になりました。今後このアカデミーで積極的に活動をし、人間力を磨いていきたいです。

大東文化大学 外国語学部 1年 加島悠斗

報告会を経験して、準備から発表するまで日常では絶対体験できない経験ができました。

自分達一年生はパワポや原稿など作るのがほとんど初めてだったため、大変先輩方に助けてもらいました。それにより、先輩方の凄さを肌で感じ、自分達もこれからこのように成長していかなければいかないと強く思いました。最後になりますが、この経験を通して4班の結束もより一層強くなり、次の夏合宿までまた頑張っていきたいと思います。

大東文化大学 環境創造学部 1年 近藤秀哉

私達もいつかは社会人になる日が来る。という事は大学生の私の漠然としたイメージだったけれど、実体を持たない物だった。でもワークショップを通して様々な社会人の話を聞き友達と話し合ううち、それは間近にあるもので、必然的に向こうからやってきてくれるものではなく、自分で掴まなければならない事を改めて実感すると同時にWSをしてくれた社会人の方々と自分とではやはり人間的に、人格的にも差がありまた一人一人が個性的であると感じた。まだまだ成長しなくては、と思えるサークル活動だった。

大東文化大学 国際関係学部 1年 佐藤真彩

今までの活動を通してWSなどで、人脈を広げることなどこれから先大学生活を充実させるためにすべきことをたくさん学ぶことができました。今回のWS報告会で他のグループの発表を聞いて新しい考えを知ることもできました。この活動で学んだことを生かして、これからの大学生活を充実したものにしたいと思いました。

大東文化大学 法学部 1年 佐怒賀大知

私はワークショップを通じて目的や目標を持って行動することの有意義さやそれを成し遂げたときの達成感を学びました。これからの活動及び生活においてもワークショップで学んだ事を忘れず日々邁進していきます。

大東文化大学 経営学部　１年 下山ちひろ

私はサークルに入部したての頃は、初対面の人ばかりでディスカッションの場でも、消極的になっていました。でも日を重ねるごとに主張できている自分がいました。サークル活動に参加するたびに、少しずつ成長できているのが分かり、とても嬉しかったです。 　本番商談は参加出来ませんでしたが、本番直前まで練習する同期を見て心の中で一生懸命応援して見守っていました。舞台に立った同期たちは輝いてました。私は改めて班で協力して造り上げていくものは一生の宝だと思いました。報告会が成功したのは班長さんをはじめ、親身に相談に乗ってくれたり、力を貸してくれて、沢山の支持があったからだと思っています！私が2年生になったときは、1年生や班長さんの手助けとなる人になりたいです。

大東文化大学　経済学部　１年 等田裕偉

私はこのワークショップを通して多くのことを学びました。まず、この社会人交流会というサークルに入り、たくさんの同期と先輩と出会いました。私は大学生活を送っていく上で友達や先輩たちと繋がりたいと思っていました。そんな時このサークルを知り入ることを決めました。サークルに入ることで多くの同期、先輩と関わりができました。また、卒業していった先輩方の話を聞いていると、どの先輩もとてもいきいきしていました。私はそんな先輩方を見てどうしたらこんなかっこよくなれるのだろうかと思いました。すると先輩方はみんな口をそろえてこの社会人交流会のおかげだ。といっていました。ただ、座って話を聞くだけでなく、毎回毎回の活動で目標をもって取り組みまわりよりも一歩先を行くことが大事といっていました。私は、このワークショップでもっと多くの仲間を作り

向上心を持って活動に取り組みたいです。

大東文化大学 経済学部 1年 深町太一

今回のワークショップ活動に私は4班の一員として参加させていただきました。

 4班には頼れる先輩、なんでも話せる同期がいたためとても恵まれた班に入れたなと報告会が終わった今でも感じております。

 そんな4班でのワークショップ活動を通じて私は自分にある才能と自分の人生を豊かにするために必要なことの2つを見出すことができました。

 登壇のリハーサルの時に4年生の先輩方に声が聞こえやすくてよかったと褒められ、同期たちには発表がすごい上手と言われとても自信になりました。そして同時にこれは自分の才能なのではないかとも考えました。遠藤菜摘様のお話いただいたことと合致していたからです。そのため私は発表が上手という才能を見つけることができました。

 続いて人生を豊かにするために必要なことについてです。今までの私の人生に圧倒的に足りてなかったものがコミュニケーション能力です。しかしこのワークショップ活動を通じてコミュニケーション能力は人生を豊かにするために必要なものであると判断しました。

 コミュニケーションが取れれば交友の輪が広がるし、コミュニケーションが取れれば人との絆が深まります。

 以上の2点は今回のワークショップ活動を通じて私自身が見つけ出した学びです。このような学びを見出すことが出来るようになったのもワークショップに参加したおかげです。

 このような貴重な体験ができて本当に良かったと思いました。今後また報告会やワークショップがある際には積極的に取り組みたいと思います。

大東文化大学法学部法律学科1年 村山加畝

私は、今回のWSや報告会に参加させていただいた事で、学んだこと、驚いたことがたくさんありました。 特に中でも、遠藤菜摘さんの｢地球滞在時間を楽しむ｣というお話をお聞きして、今ある時間を大切にしようと思え、嫌な事や辛い事も、全てが自分にとって意味のある事なんだということを学べました。そして、後藤友彦さんの｢誘われたら断らない｣というお話をお聞きして、とても驚きました。以前の自分は、その時の気分やその人の印象を勝手に決めつけて、行くか行かないかを検討していたからです。

 あまり良くない印象の人とでも、深く話して関われば、自分にとってものすごく仲の良い友達になれるのではないかと思えました。

 今回のWSで、本当にたくさんのことを吸収できたと思います。

 しかし、吸収するだけでなく、自分の中でと自分に合った形で活かしていきたいと思います。これからも社会人交流会の活動に積極的に参加し、講演をしてくださった先輩方のような立派な社会人になりたいと思います。

大東文化大学　経営学部　１年　目崎壱成

今回社会人交流会でワークショップに参加して社会人の方々のお話から様々なことを学ぶことができました。その学んだ中で自分が一番印象に残ったことはたくさんの方々が仰っていた人脈が大切だということです。先輩や同期と関わっていくことで困難な状況も乗り越えられるなと思いました。ワークショップ中にもそのことを実感しました。

報告会では、自分は人見知りで、人の前で話したりするのがとても苦手です。なのでそんな自分があんな大勢の前で話すなんて厳しいなと思っていました。しかし、参加してみると緊張はとてもしていましたが思っていたよりも上手く話すことができたかなと思います。

このような経験は他のサークルに入っても経験をすることはできないと思います。そのような貴重な経験をできたのはこれからの人生の中でとても役に立ちそうないい経験でした。

ワークショップ班では森本先輩の班だったのですがわからなかったことを細かいところまで教えていただいたので成功することができたのだと思います。

次の大きな行事は夏合宿なので今よりも成長ができるように頑張りたいなと思いました。

ワークショップで登壇できて良かったです。

大東文化大学経営学部１年 山崎結依菜
私はワークショップに参加して、沢山の社会人の方々のお話を聞くことが出来とても貴重な体験が出来たと思います。
このサークルに入り、ワークショップに参加してなかったら聞けなかったお話なので社会人交流会に入って良かったと思いました。それ以外にも、人の話を聞く際にメモを取ることを当たり前のようにできるようになったのも、ワークショップのお陰だと思います。また、社会人の方々のお話はとても勉強になるお話ばかりで、４月の頃の自分は大学生になってこれから何をしていけばいいのか分からない状態だったけど、ワークショップの回数を重ねる毎に自分がこれからやるべきことが段々分かってきました。報告会に向けてのディスカッションの際に、他の人の意見を聞いてそういう感じ方や考え方があるのだなと発見でき楽しかったです。また、班員みんなで協力することで今まで緊張して話せなかった人とも今では気軽に話せるようになり、サークル活動がより楽しいものになりました。また、ディスカッション時の進行や原稿の添削等を先輩達にやって頂いた際、先輩達の凄さを知り尊敬と憧れを抱くと共に自分が将来今の先輩達のように出来るか不安になりました。
将来先輩達みたくみんなを引っ張っていける先輩になれるように、今後もサークルを通して多くのことを学んでいきたいと思います。

大東文化大学 スポーツ健康科学部1年 渡邊颯

ワークショップを通して、数多くの先輩社会人の方々からこれからどういう風に大学生活を過ごしていくのか、自分はどう行動したら良いのかなどの貴重な話を聞くことができた。

これは他のサークルなどではなかなか経験できないことだと思った。この経験を活かし、これからの大学生活では自分から積極的に行動し、充実した大学生活を送りたいと思う。

また、グループディスカッションを繰り返していく中で、自然と班員と関わるようになり、今では他学部・他学科に多くの頼ることのできる友人・先輩が増えた。

このサークル、社会人交流会に入っていなければ社会で活躍する先輩方の話を聞くことは出来なかっただろうし、どういう大学生活を送っていけばいいかわからなかっただろうし、他学部・他学科の友人や先輩と知り合えなかったと思う。

しかし、社会人交流会に入り、ワークショップに参加したことでこれからの大学生活を考えることができ、友人・先輩たちと関わることが出来た。

ワークショップの経験から、もっと積極的に行動して、卒業してからも関われる人脈を作っていきたいと思った。社会人交流会に入って、ワークショップに参加して良かったと思う。

大東文化大学 国際関係学部 一年 渡邉良寧

 ワークショップに参加したことで、様々な場面でご活躍されている先輩方の貴重な話を聞くという普段ではなかなか難しい経験が出来たので新しい発見が沢山ありました。どの先輩もそれぞれ目標を持ち、意識高く行動しているということがとても伝わり、私自身の意識も少しずつ変わったのではないかと思います。ここで学んだ目標達成のため計画的に行動することや仲間とコミュニケーションを取るということの大切さが報告会に向けての活動の中で少しでも自然と班員と協力することで出来たと思いました。それと同時に自分の足りない部分も見つけることが出来ました。周りと比べしっかりと話を聞いてメモを取ることがワークショップの中でもう少し頑張れていたらと反省しました。今のうちから社会人になる前にこういった行為や礼儀は身に付けておくべきだと実感しました。班員と意見を話し合っていく中で先輩や同期とも交流が増えたので良かったです。今回は登壇は出来ませんでしたが、班員の堂々とした姿に刺激を受ける良い機会にもなりました。

（５班）

大東文化大学　経済学部2年 中村圭佑

私は今回のワークショップで様々なことを学ぶことができました。

一つ目は、人脈は財産である、環境は人を変える、時間を逆算して行動する大切さの三つを班員で話し合ったときに、これからの大学生活に活かしていきたいと思いました。また社会人の方のお話は聞いていて今後、自分自身が変わっていかないといけないと思いました。二つ目は、五班で4限後や土日に集まってパワポを作成して班で協力して一つのことを成し遂げたときの達成感を実感できたことです。自分は今まで活動に対して積極的ではありませんでした。しかし、今回のワークショップで少し意見を出すことが出来ました。そして、ここまで楽しくとは思っていなかったので、社会人交流会に入って良かったと思いました。また、報告会当日、五班の発表の時、緊張してパワポの押すタイミングを間違ってしまい、五班のみんなには迷惑をかけてしまいましたが、終わった後は先輩、2年生達が励ましの言葉をかけてくれて気が楽になりました。私は人見知り克服と人前で堂々と話せるようになりたいと思い、社会人交流会に入りました。班の人たち以外にも他の班の人とも少しずつ喋れるようになりました。人前で話すのはまだ緊張しますが、これから少しずつ直していけるよう努力したいです。グル研では自分の意見をもっと積極的に話してワークショップでの反省を生かして頑張りたいと思います。

大東文化大学　国際関係学部 1年 麻生愛織
今回ワークショップという貴重な機会を得た。どの班の報告も皆、これまで一度は経験した事があるのではないかという程素晴らしいものであった。同じ新規生とは考えられぬ度胸と発言であった。自分も練習通りに発表をすることができたと感じている。それは自分が頑張ったからである事は確かだ。しかし、その晴れ舞台は班長やT.T、班長補佐、班の先輩や同期の仲間が、いかに自分を支えてくれていたかという事はそれ以上に感じられた。応援してくれる人の影があるからこそ、どの班の度胸の強さや発言力にも負けたくないのである。どの班の報告も非常に素晴らしかった。だが、次のワークショップの班では更にその上の完成度へ飛躍しようと考えている。その際、現在のワークショップの班が終わるわけではない。今回の報告会を経て自分で自分の鏡となり、利点ともっと伸ばしたい点を映し出していく。この様に、現在のワークショップの班で一緒に過ごした仲間と一緒に次のワークショップの班へと生かしていくと共に、生み出していこうと考えている。

大東文化大学　環境創造学部１年　阿部靖弥

自分は、この「ワークショップ」というものに参加して、様々なことを学びました。

まず、「人脈の輪を広げることの大切さ」です。社会人の方々のお話しを聞いて、多くの方が「人脈は大切だ」とおっしゃっていました。人脈を広げ、仲間を作ることはとても大切なことだと思ったので、これからのサークル活動や普段の学校生活の中でどんなことでも相談出来るような仲間を作っていきたいと思います。

次に、「自分を知る」ということです。今まで自分は自らのことを知ろうとはしていませんでした。しかし、自分を知ることで、いろいろな武器が見つかり、自分に合ったことをしていけるようになると思うので、どんどん自分を知っていきたいです。

最後に、「目標となる人を見つける」です。自分は将来、なりたいと思っている職業が全くありません。しかし、社会人の方々が目標となる人を見つけたとおっしゃっていて、自分も目標となる人を見つけることで、今のように何も考えずに、ただただ送っている学校生活が充実するのかなと思います。なので、これからの学校生活などを通じて目標となる人を見つけていきたいと思います。

ワークショップ報告会では、普通に大学で生活しているだけでは体験することのできない

「大勢の人前で話す」という貴重な体験ができ、さらに成功させることもでき、良かったです。報告の準備もとても大変でしたが、先輩たちの御協力やみんなで力を合わせたから完成させることが出来たと思います。

今回のワークショップを通じて様々な貴重な体験ができて本当によかったです。

本当にありがとうございました。

大東文化大学　国際関係学部　1年　市ノ瀬桜

今回のワークショップを通して、重要な事を2つ見つけました。
１つ目は、自分の考えを相手に的確に伝える大切さです。これは、プレゼンに対して梅沢先生にご指摘頂いた際に質問に答えられなかったことから感じました。質問に的確に具体的に解答することに対してまだまだ未熟だと感じました。このことから今後、私は、拙くても自分の考えを伝えたいと感じました。
２つ目は、友人を作る大切さです。プレゼンを作るうえで仲良くなった仲間は、私にとってサークルを続けていくうえで大きな糧になりました。また、出会った仲間は、サークル外でも仲が良く、友達がいたからこそ、毎日がとても楽しいです。もっと大学生活を充実させる為にも自分から積極的に声を掛けて行きたいです。
これらを生かして、次の夏合宿までに自分がどう大学生活を過ごすのかを見つめ直して行きたいと思います。今回は、このような貴重な体験をさせて頂き、有難うございました。

大東文化大学　環境創造学部１年　齊川　侑嗣

自分は大学受験に失敗し、あまり気持ちがよくない状態での入学でした。ですがワークショップで実際に活躍している社会人の方々のお話を聞くとほとんどの方が受験に失敗したと仰っていました。そこで自分はこのサークルで諦めず努力すればこの人達のようになれると思いこのサークルを続けることによりあの人たちのようになれると思いました。

この気づきから自分は、WS班でのディスカッションや原稿作成やパワーポイントの作成などに積極的に参加できるようになれたと思います。

WS班内の活動で自分はあまり原稿作成があまり得意ではなく、原稿を書いているときに詰まってしまったり、文の構成がおかしくて悩んでいたりしたときに先輩方が力を貸してくれ、優しく丁寧にどこをどう直せば良いのか教えて頂きなんとかまとまった原稿できました。原稿が完成したときはなにか自分が成長できたなという達成感がありとても充実した

WS班での活動を送ることができました。

最後に今回のワークショップに参加して、自分自身が成長していることを実感することができました。そして社会人の方々のお話やWS班での活動から学んだことを今後の活動や日常生活の中で活かしていきたいと思います。

大東文化大学　国際関係学部　１年 中山 恩惠
私は、今回初めてワークショップに参加させていただきました。社会人の話を聞き凄くためになることが多く、ワークショップに参加して本当に良かったと感じました。私がこのサークルに入らなければ、先輩方や同期と出逢うことは無かったと思います。サークルに入り素敵な仲間に出逢うことができたのだと思いました。そして、たくさんの人と関わることができました。人脈を広げもっと多くの人と出逢いたいと思いました。人と出逢うことにより自分が成長していくのだと感じました。一緒にワークショップを成功させるために頑張り、大勢の人の前で発表できるくらい自信がつきました。良い報告をしようと一人一人が努力してきたので、自信を持って報告することができました。ご指導をしてくださった梅沢先生をはじめ、班長、TT、先輩方に感謝しています。また、同期にも感謝しています。何もなかった私が大勢の人の前で報告をして、自分に自信をもつという素晴らしい学びを得ました。皆さんに巡り逢えて、成長できたのだと感じました。「人脈は財産である」は、今年の一つの目標として、頑張っていきたいです。なので、今後自分から積極的に話しかけ、横や縦の繋がりを大切にし、大学生活を有意義なものにしていきたいです。

（６班）

大東文化大学　経済学部　1年　岩山明弘

私がこれまでのWSを通して印象に残ったことは、倉田皓裕さんや野中美駒さんが仰っていた人間関係の大切です。よく大学の友達は一生の友達ができるといいます。
社会人になると、どうしてもお金が絡んできて本当の友達ができにくいと聞きます。
この社会人交流会の人たちは意識の高い人が多く、目標とする先輩がいたり、一緒に頑張っていきたいと思う同期が見つかりました。これからもインターシップや夏合宿や普段の活動など自分が成長できるいい機会が多くありとても楽しみにしています。このサークルでしか経験できないことが多くあるのでこのサークルに入ることができて自分は幸運だな、と思いました。そして、大学を卒業するとき、「自分はこういうことを頑張った！」と胸を張って言えるようにがんばります。梅沢先生の今後のお話も楽しみにしています。

大東文化大学　環境創造学部　1年　鈴木栄幸

　「大きな目標」を見つけることにより、今の自分は何をすべきなのかが見えてくる。

私が聴いてきたWSの講師の方々は殆どこれに似た事を仰っていました。中でも、川股様と峯川様のお話は私の中で特に印象に残っています。

まず、川股様はこの「大きな目標」について初めて仰っていたので、とても印象に残りました。しかし、今の自分には「大きな目標」が無く具体的にそれはどの様に見つけたらいいか分かりませんでした。然しながら、後のWSにて峯川様のお話を聴いた後、質問する機会が有り、私はそこで「大きな目標を見つけるコツ」を伺いました。すると、峯川様は、「そのためにまずは、何事にも恐れずチャレンジしてみること。また、この業界は自分には向いていないなど決めつけず、とりあえず経験してみることが大事。すると、その内興味の無かった業界などに興味を持ち始めたりする。」と仰っていました。

　これらのWSでの様々な方のお話を聴いて、私にはまだ「大きな目標」がないのですが、いろいろなことを経験していく上で目標としたいことや目標としたい人が見つかってくるのではないかと思うと同時に、私は今大学１年生なので、焦って見つけるのではなく、まずは落ち着いて様々の事にチャレンジしていこうと思います。

大東文化大学　経営学部　1年　森琴音

私は今回WSに参加して、多くのことを学び得ることが出来ました。その学びの中で最も印象に残ったのは、小林航さんの「何事にも恐れずチャレンジする」という言葉です。私はいつも何か新しいことに挑戦しようとするとき、失敗を恐れて挑戦することを躊躇ってしまっていました。しかし、小林さんのその言葉を聞いて失敗は悪いことではなく自分自身を成長させてくれるとてもプラスなことなのではないかということに気が付きました。また失敗を通してその分多くの経験をすることができ、気付くことが出来ます。その気付きは失敗をしないと得ることができないものです。その経験や気付きは私を成功へと導いてくれる重要かつ必要なものだと思いました。そのため、私はこれから小林さんの仰っていた通り、何事にも恐れずにたくさんの経験をして経験値を上げ、自分の武器を増やしていきたいと思いました。また報告会という大勢の人の前で発表するという貴重な経験させていただいたおかげで自信を持って物事に挑むことの大切さも学びました。自信を持つことで堂々とすることができ、発表のような場では伝えたい事をより相手に伝わりやすくなると思いました。今回のWSを通して私はこれから自信を持って物事に挑戦していきたいと思います。

大東文化大学　経営学部　1年　米田遥奈

六月月十九日に行われたワークショップで一年生ながら、貴重な体験をさせて頂いたなと感じています。
私は今回のワークショップ報告会で、壇上へあがり発表することは残念ながら出来ませんでしたが、班の仲間と意見を出し合ったり、大東文化大学を卒業した社会人の生の声を聞いたり、各班の発表を聞いて、私も大学在学中の四年間で成長していかないといけないなと改めて考えさせられました。
具体的に言うと二つあります。一つ目は、積極性を身につけることです。私の中で社会に出るために一番大切なのではないかと考えています。ですが、大学の講義では発表する機会がほとんど無く、チャレンジする機会がないので、社会人交流会の火曜アカデミーで、自分からディスカッションで積極的に発表出来るよう頑張っていきたいです。そして、一年生のうちからインターンシップ参加出来るように自分に自信を持っていきたいです。
二つ目は、視野を広げていくことです。今回の報告会に向けて準備をしていく上で、ディスカッションをする機会が多く、先輩方や同期の意見を聞いて、自分には考えつかないような意見が沢山出てきて、視野が広がりました。色々な視点から物事を考えていく事が大切なんだなと感じました。今後は自分の意見だけではなく、周りの意見にも耳を傾けていきたいと思いました。

大東文化大学　経済学部　1年　柳田優太

僕は、今回のワークショップを振り返って良かった事が2つあります。まず1つ目は、色々な先輩方の話が聞けて、これからの大学生活を良いものにするためにとても役立つと思いました。自分は大学受験に失敗して、就職などにとても不安を感じていたので、このサークルに入って先輩方のお話聞いて大学生活4年間の中でどんな経験をしたら良いかやどんな考え方をしたら良いかなどに気づけた事はとても大事だと思いました。例えば、「目標を決めて、逆算して行動することが大切である」という川股さんのお話は、計画性が無く、目標を立ててもそれを実行出来なかった今までの自分にはとても大切な事だと思いました。このお話を聞いてこれからは、目標を達成するまでの過程を大事にして、しっかりと目標を
実行していこうと思う事が出来たので良かったと思います。次に2つ目は、このワークショップの活動を通して班の仲間や先輩方との仲が深められた事です。最初は、あまり話すことが出来なくて、不安でしたが、だんだん班の環境にも慣れて話せるようになってきて、サークルの活動が楽しいと感じるようになれたのでとても良かったです。今回のワークショップの活動は、土日にやる事が多くて、参加出来ない日も結構あったので、次回はもっと積極的に参加して行きたいです。

大東文化大学　環境創造学部　1年　渡辺直人

今回のWSでは、四人の社会人の方のお話をお聞きすることができました。特に川股さんと藤巻さんは自分の芯をしっかりと持っていてかっこいいなと感じました。そんなお二人のお話を聞いて、私が今後から意識して行おうと思ったこと、改めて意識をしていこうと思ったこと、きづいたら実行できていたことがあります。

一つ目は、川股さんの目標を立てて逆算して行動することが大切であるという言葉です。私は自己管理が苦手で目標に向けて計画は立てるのですがそれを実現することはほとんどできていませんでした。しかし、川股さんのお話を聞いて、社会にでたときに、逆算して行動出来ている川股さんと、出来ていない同僚とでは、心の余裕や、信頼感が違うということがわかりました。一朝一夕では身につかないことなので今後はしっかりと意識をして行動に繋がるようにしたいと思いました。

二つ目は、藤巻さんの環境が人を変えるという言葉です。この言葉は私が常に心がけていることでした。私は中学の頃から班長じゃなくてやるなら副班長がいいなといったようにいつも2番目の所にいました。なぜなら、責任を全て追うわけではないし、最終決定権は班長にあるのだから気持ち楽にできると思っていたからでした。しかし、高校になり、部活に入るとみんなが俺が俺がとしのぎを削るような環境でした。次第に自分も積極性がつきました。この積極性は高校でそんな意識の高い仲間のいる環境にいなければ身につかなかったと思います。このサークルも高校の時のような意識の高い人が集まっているとこに入りたいとおもって辿り着いた所なので、入ってみて改めて良かったなと思っています。今後もこの言葉は忘れずに意識をしていきたいと思いました。

最後は、お二人共仰っていたこのサークルではいい仲間が作れるという言葉です。WSが終わってふと周りを見渡した時には、話を親身になって聞いてくれて、困ったことがあれば相談にのり助けてくれる頼れる先輩方。互いに本音で意見を言い合いながらお互いに高めあっていける同期の姿がありました。いい仲間を作るというのは自分で意識をしていてもなかなか叶うことではありませんが、私の所属する6班の人達は良い人ばかりで恵まれているなと感じました。

私は今回のWSを受けるまで大東文化でちゃんと就職できるのか、なにをやっていけば良いのかと不安にかられることもありましたが、大東文化卒の先輩方が活き活きと働いていて堂々と話をしている姿を見てちゃんとやっていれば大丈夫なんだと希望を抱くことができました。これからは先輩方のようにしっかりと芯の通ったかっこいい先輩に近づけるように精進していきたいと思いました。

（７班）

大東文化大学 法学部　1年 石井敦

今回のＷＳは社会人交流会に入って最初の行事ということで、とても緊張していました。特に共同作業をするという経験をほとんどしてこなかったので班員と仲良くやっていけるかが不安でした。

ＷＳでは13人の社会人の方々の講演を聞かせて頂きました。その中でも特に「人脈を作るのが大切」というお話しと「経験を積んで慣れる」というお話しが印象深かったです。また、社会人の方々は具体的にお話してくださったのでとても聞きやすかったです。私も聞く人にとって分かりやすい話し方を身に付けたいと思いました。

ＷＳ後半からは、報告会に向けての準備が始まりました。ここではそれまでのＷＳで実践すべきだと言われていたことを意識して活動に参加しました。具体的には1年生同士で意見を出し合って話す内容を決める、分からないことがあったら先輩に相談する、息抜きに班員や他の班の人たちと雑談する、といったことです。しかし、今までコミュニケーションをとることを避けてきた私には、雑談の時に自分から話かけに行くことが中々出来ませんでした。今後は自ら積極的に話しかけに行こうと思います。

来年には後輩を指導する立場になるので、それまでに人間力と技術力を高めて新規生に信頼してもらえるような人間になりたいです。

大東文化大学 法学部　1年 牛村哲平

　今回は初めてのWSでどのようなものがよくわかっておらず、少し不安でした。しかし、実際に参加したところ、先輩社会人の方々はとてもかっこよく、力強く、また、お話もとても参考になるものばかりでした。具体的に、社会に出てから役に立つお話はもちろん、大学生活でも役に立つお話や、社会人交流会に所属する上でのメリットなどもわかりやすくお話してくださいました。特に遠藤さんのお話は印象に残っています。他の社会人先輩方とは違い、ワークをしながらの講演だったので新鮮に感じました。また、自分の才能が発揮される環境を見つけることが大事とおっしゃていたのが印象に残りました。さらに他の先輩社会人の方々は、人脈は財産など多くのお話をしてくださいました。

私は今回のWSを通じて少し成長できたと感じました。このような機会を与えてくださった梅沢先生、先輩社会人の方々に心から感謝致します。

大東文化大学 経営学部　1年 小川秋星

「ワークショップ」というものの説明を受け、初めに抱いた印象は、「果たして自分にできるのだろうか」という不安でした。社会人の先輩方のお話を聞き、それを自分たちなりにまとめ報告会という場で発表するというのは、今まで経験したことがなかったので、どのように進めていくのか、どれくらいの規模なのか、口頭での説明では確固たるイメージが湧かず、不安を感じたのを今でも覚えています。

そんな不安を抱えたままワークショップに参加してお話を聞いた時には、不安は払拭され、期待や感動の方が自分の中で大きくなっていきました。自分が入った大学を卒業されて、こんなにも華々しく活躍をしている人たちがいるのかと感動し、自分もこのサークルで精力的に活動していけば先輩方のようになれるのではないかという希望を抱かせてくれました。そして、その時私たちが行っていたワークショップを、お話をして下さった一部の社会人の先輩方もやっていたのだと思うと、自分も頑張って少しでも近づかなければという気持ちになりました。

そういう心持になってからは、社会人の先輩方からお話を聞き、班でのディスカッションにも積極的に参加しました。初めの内は、私も含め同期全員が探り探りでしたが、既存の先輩方の協力や、社会人の先輩方からの刺激で、同期が少しずつ打ち解けていった事により、皆が積極的に発言をし、色々な意見が飛び交う良いディスカッションをする事ができました。

また、報告会を無事に乗り越えることを目標の一つとして設定していたので、それをこの班の同期と達成できたことを嬉しく思います。発表の方では、壇上に立ってから発表を終えるまで緊張であまり物を考えられない様な状態でした。

この報告会は社会人交流会の新規生が初めに経験する大きなイベントということで、それを無事に終えることが出来、さらに自信をつける事ができたのではないかと思います。今回の経験から、このサークルは色々な経験をさせてくれるチャンスが数多くあり、それをこなしていくことで自信を付けることができるのだと感じました。

これからは、この班で培った経験を活かしてサークルでの活動も頑張っていきたいです。

大東文化大学 国際関係学部　1年 鈴木詩織

今回の春季ワークショップを通して感じたことがいくつかあります。

まず、努力することの大切さを感じました。正直いうと入学直後はこの学校を卒業してその先の見通しが全くたっていませんでした。しかし、今回のワークショップに参加して内定に向けて礼儀やマナーを身につけることや場数を踏むことなどやるべきことが明確になりました。アカデミー活動で努力したことが内定をいただくことに繋がっていると感じました。

次に、同期や先輩の縦や横の繋がりの重要さを感じました。先輩方とたくさん話したり、ご飯に連れて行ってもらったりすることによって、先輩方との繋がりをより強固なものにできるのではないかと考えました。また多くの同期と関わることでお互いを高めあえる同士ができ、よい刺激になると思いました。

最後に、アカデミー内のイベントを大切にして、積極的に取り組もうと思いました。今回のワークショップで講演してくださった先輩方の多くがアカデミー内のイベントには積極的に参加することを強く仰っていました。その上、インターンシップや統括幹事などを経験なさっていて凄まじい積極性をお持ちの方もいてとても感銘を受けました。１つ１つの積み重ねが大きなものになることを学びました。

このワークショップを通して多くのことを学び、感じることができました。以上のことを意識して今後のアカデミー活動に取り組みたいです。

大東文化大学 文学部　1年 鷹野祐輔

　ワークショップとワークショップ報告会から私が学んだことは、3つあります。

1つ目は、サークルの魅力についてです。私がお話を聞いた先輩方全員、人脈や仲間の大切さについて語ってくださいました。具体的には、「仲間がいたからいまの自分がいる。困ったときは仲間を頼った。」とおっしゃっていた先輩もいれば、なれ合いの友達ではない、本音をぶつけ合える友を「同志」と呼んだ先輩もいました。

　2つ目になぜ就職率１００％なのかについてです。先輩方は「ただこのサークルにいるだけではなにもかわらない。能動的に。」などとおっしゃっていました。私は、このサークルで得られるものは人間力であり、それが身についていれば就職という結果は、おのずとついてくるものなのだと学びました。

　最後は環境の良さについてです。今回のようにボランティアで来てくれる先輩社会人の方々がいること、大ホールで発表する機会が与えられること、これらは当たり前のことではありません。

その中でも、「叱り」をいただけることが一番の良さだと考えました。高校とは違い大学では、叱られるということが一気に減ったように感じました。しかし、先生や先輩方から指摘や叱りを受け、成長することが社会人交流会ではできます。このような素晴らしい環境で頑張りたいと考えました。

　これからは、パワーポイントに書いたことを責任もって実行していき、尊敬する班の先輩方のように成長していきたいです。

素晴らしい講演をしてくださった先輩社会人の方々、発表の場を設けてくださった先生、苦労を共にした同志たちに感謝します。ありがとうございました。

大東文化大学 文学部　１年 野澤銀平

　私はこの２か月間のワークショップで、先輩社会人の皆様のお話しをお聞きしたことで、様々な気づきや学びを得ました。その中で、特に印象に残ったお話が２つあります。

　１つ目は、川股様の、「何かに取り組む時には目的、目標をもって挑もう。」というお話です。今までの自分はただ何となく過ごしているだけで、明確な目的も持っていませんでした。しかし、川股様のお話をお聞きしたことで、何かを成し遂げる時には自分なりの目標を設定し、結果に結びつくまでのプロセスを大切にしてこうと考えるようになりました。これから始まる夏合宿やチュートリアルにも目標をもって挑みたいです。

　２つ目は、倉田様の、「フットワークを軽くして、何事にもチャレンジしていこう。」というお話です。大学生は、今までよりも自分に使える時間が非常に多くあると思います。その時間で、多くのことに積極的に挑戦していき、技術や経験を積むこともできます。さらに、経験の蓄積により新たな発見があり、視野も広がっていくのではないかと考えました。具体的にはアカデミー活動に参加することなどが挙げられます。社会人の方々と交流することができるこの活動は、まさしく新たな発見にうってつけの環境だと考えます。そのため、ただ参加するだけでなく、先輩方をよく観察し、自分の力に変えていきたいと思います。

　今回のワークショップで先輩方のお話しを伺い、その堂々たるお姿にただただ圧倒されてしまった自分がいました。これほどまでに自信に満ち溢れているのは、このアカデミー活動を全力でやってきたからだと考えます。そんな先輩方に少しでも近づけるように、この社会人交流会で邁進していこうと思いました。

大東文化大学 経済学部　1年 福澤君義

ワークショップを終えて率直な感想は7班で活動出来てよかったことです。そう感じた一番の要因は先輩方の存在です。実際自分とは僅かしか歳が違わないのに歳以上の差を感じました。来年の自分はこのような先輩方のようになれているのか、とても不安になったということも事実です。このような事実がある中で私がやらなければならない事が明確となりました。それは、アカデミーに参加し続けることです。そして来年のワークショップで新しく入ってくる一年生に今の自分と同じ感想を持ってもらえるようになりたいです。

ワークショップで感じたことはもう一つあります。それは感動です。ワークショップ報告会が終わった直後に先輩方がくれた一言がとても胸に響きました。このような感動を大学生活で味わえるとは思っていませんでした。これからは自分が感動するだけではなく、人を感動させられる人間になりたいです。以上を踏まえて、これからも人間力を向上させていきたいです。

東洋大学 総合情報学部　1年 福田実来

　今回のワークショップに参加するまで、私は大学生活をより充実させるにはどのようにしたらいいのか、将来のために今何をすべきなのか、悩んでいました。しかし、今回ワークショップに参加して｢私の大学生活4年間｣というテーマでお話を聞かせていただいたことで、自分に与えられたこの大学生活4年間で何をすべきなのか明確になりました。

　特に、私は興味をもったことやいい環境を見つけたらそこに積極的に参加するように心がけてはいましたが、その環境でただ行動するだけではだめだと気づくことができました。また、失敗を恐れずに、たとえ失敗しても反省･改善をして次につなげていくことが重要だとわかりました。

　ワークショップを通して、先輩や同期の発言を聞いて意識の高さを目の当たりにしました。また、準備段階などでは暖かい支えがあり感謝の気持ちが生まれました。

　報告会当日は、大勢の前で登壇するという今までにない経験をして、改めて大勢の前で堂々とお話しする先輩方がすごいなと思いました。

　今回のワークショップを通して考えたことや経験したことによって得た学びを今後に生かし、さらに成長できるようにしていきたいです。

大東文化大学 国際関係学部　1年 前田涼

　私は、ワークショップに参加し、先輩社会人のお話を聞いたことで、これからの大学生活でどのような取り組みを行っていけばいいのかがわかりました。その中で一番大切だと思ったことは、自分を見つめることです。私は、正直自分のことが嫌いでした。しかし、自己分析をして自分のことを知らなければ、どこを反省し、どこを改善していいのかがわからなくなると思いました。その後に、自己開示をして他人に自分のことをどんどん売り込み、知ってもらうことが大切だと思いました。これからの大学生活で、同期や先輩に自分のことを知ってもらい、深い関係を築いていきたいです。

　次に、班活動についてです。私は、班活動で先輩たちの凄さを実感しました。主に、班長が僕達のことを引っ張ってくれ、２年生は班長のサポートをしていました。先輩方は、僕たちを飽きさせないように場の空気を楽しく、和やかにしてくれました。また、夜遅くまでパワーポイントや原稿の添削に時間を割いてくれました。先輩方には感謝しかないです。来年、私も先輩になりますが、その時に一年生をしっかり指導し、楽しく頼りになる先輩になりたいです。

　最後に、報告会についてです。私は、人前で話すのが苦手で、人前で発表をしたことがありませんでした。そのため、本番も緊張し、手の震えが止まりませんでした。しかし、今回の報告会で登壇できたことはとても貴重な経験だったので、多くの人の前で発表できてよかったです。ただ、同期の中には、話すのが上手く、緊張をしている様子が見えない人もいました。そのような姿を見ると、やはり自分は劣っていると思いました。そんな同期に負けないように、自分から発表の機会を増やし、積極的に活動したいと思いました。

私は、このアカデミーを通して、大学生活を充実したものにします。

大東文化大学 国際関係学部　1年 松瀬もも

私が社会人交流会に入ったきっかけは人見知りやマイナス思考を改善したい、就職への不安を取り除きたいと思ったからです。社会人交流会に入って初めての春季ワークショップという行事に参加し、沢山の社会人の方の貴重なお話を聞く事ができました。
  私にとって印象に残ったお話は2つあります。1つ目は遠藤さんの潜在意識を味方につけるというお話です。私はとても思い込みが激しく、マイナスに考えてしまう事が多かったのですが、潜在意識のお話を聞いて、少し考え方を変えるだけで、こんなにも思い込みが自分にとってメリットになるのだと感銘を受けました。
  2つ目は橋本さんの苦手分野を得意分野に変えるために努力するというお話です。私は苦手な事から逃げ、克服する努力をしてきませんでした。しかし、1つ苦手分野を得意分野に変える事が出来れば必ず自分の自信に繋がり、自分を変えるきっかけになるのだと思いました。
  お2人のお話から人前で話す、人に伝えるなどの苦手分野を得意分野にするためにアカデミーで積極的に質問したり、人前で話したりする機会を増やし、自分の意見を簡潔に伝える練習を行おうと思いました。そして、マイナスに考える事があったとしても、その考えが自分にとってメリットになるように考え方を変えようと思います。
   私がお話を聞いた社会人の方全員がこの人間力アカデミーでの経験がいかに就職活動に役に立ったかをおっしゃっていました。だからこそ、私は4年間人間力アカデミーで経験を積み、日常生活に必要不可欠である人間力を強化すると共に自分の長所や、糧となるものを身につけようと考えました。

大東文化大学 法律学部　１年 松本瑞生

春季ＷＳを終えて、今私が感じているのは漠然とした不安です。

私は当初、この大学に入った段階ではあまり社会人交流会に魅力を感じておらず、友達が誘うからという理由でなんとなく活動に参加していました。しかし、参加するうちに自分と周囲との差に非常に強く衝撃を受けました。確固たる目標も叶えるべき夢も持たない自分にとって、夢や目標に自信を持って堂々と話す同期達のいる社会人交流会は、私にとって眩しい場所でした。私が周囲との差を意識する中、ＷＳが始まり、私も何度かＷＳに参加させて頂きました。どの先輩方の講演も非常に参考になるものばかりで、中でも印象に残ったのは、第７回ＷＳの際に、榎本さんが「今を大事にしよう、時間は戻らない」とおっしゃっていたことです。この言葉を聞いた時に、今まで自分がどれだけ目先の快楽に溺れて有限の時間を無為に過ごしてきたかということを痛感しました。それと同時に自分の人生を考え直すとてもいいきっかけになりました。まだ夢も目標もなく、この先私がまっとうな人間になれるかわかりませんが、いつか同期や先輩方と同じ舞台に立てるよう、日々の私生活、学生生活共に見直し、せめて悔いの残らないような４年間を社会人交流会で作っていければと思います。

大東文化大学 経済学部　1年 八木澤寿幸

　ワークショップに参加して多くの先輩方の「私の大学生活4年間」というテーマでお話を聞くことができ、私が大学生活どのように行動していけば人間力を向上できるのかを知ることが出来ました。また、先輩方の堂々とした話し方や立ち振る舞いを見て、どのようにしたら社会で活躍できるのかを知ることが出来ました。

　ワークショップで色々なお話を聞かさせて頂きましたが、その中で私が印象に残ったお話しが２つあります。

　まず1つ目は、新しいことに果敢にチャレンジして、刺激的な学生生活にしようというお話です。私はワークショップに参加する前までは、苦手な事を避けてきましたが、これからは失敗を恐れず何事にもチャレンジできる人になりたいと思いました。そうすれば、人として成長できると思いました。

　2つ目は、人脈は財産というお話です。人脈を広げることで視野が広がり、新たな可能性が生まれるのではないかと考えました。また、ワークショップ報告会に向けての準備では、人脈の大切さを肌で感じることが出来ました。

　ワークショップという普段の学生生活では、経験できない貴重な時間を過ごさせて頂いたと思います。先輩方の貴重なお話を無駄にすることなく、今後のアカデミー活動では実行していきたいと思います。

大東文化大学 経済学部　１年 横山聖也

私が今回ワークショップに参加して学んだことやこれから実践していかなければならないことが分かりました。

　まず学んだことは、失敗を恐れずに何事もチャレンジするということです。私はこの社会人交流会に入るまでの18年間ほとんどディスカッションや発表するときは大人数の中に埋もれて発表しない消極的な人間の一人でした。しかし、榎本後貴さんの「失敗を恐れては何も始まらない、後悔しても時間は戻らない。」というお話がとても心に残り、自分は今まで成長するチャンスを自ら棒に振っていたのだと気づきました。よってこれからは、今まで自分が苦手意識を持っていてやりたくないと思ったことを、成長できる機会だと思い果敢に挑戦していきたいと思います。

　次に実践しなければいけないことは、目標の人を見つけてその人を分析することです。

それは、川股慎太郎さんの「目標とする人を見つけ、見つけたら、どうしたらなれるのかを模索し、自分がその人に近づくために足りないものを見つけることが大切だ。」というお話を聞いて、これを実行することは自分の成長への近道だと感じました。社会人交流会の先輩方は一人ひとり輝いていて、自分には持っていないものをたくさん持っているので身近にいる魅力的な先輩方を目標にしたいと思います。また社会人交流会は先輩と多く関わらせていただく機会があるので、その機会を無駄にせずたくさん吸収していきたいです。

　今回のワークショップに参加して自分は変わることができました。これからの活動も積極的に参加して自分を磨いていきたいと思います。

（８班）

大東文化大学　文学部　１年　佐藤まり

WSを終えて、私にとって一番大きかったのは、社会人の方々のお話から得た学びです。

まず、遠藤さんの「地球滞在時間を楽しもう」という考え方に、驚きました。今までそんなこと考えたこともなかったし、そのような考え方ができることに対しても、純粋にすごいと思いました。遠藤さんから得た学びで最も重要だと思ったのは、「自分の能力を知り、またその能力を最大限に発揮できる場所を知る」ということです。私はまだ、将来、具体的になりたいものがありません。それは、自分はどのような仕事に向いているのかわからない、どのような場面で自分の能力が発揮できるのかを知らない等、様々な理由があります。ですが、経験を重ね、場数を踏み、自分を知っていくことで、将来が見えてくるのではないかと思いました。

次に、橋本さんの「フットワークを軽くする」ことです。今まで、失敗したらいやだ。目立つのもいやだ。と、積極的に発言をせず、行動に移しませんでした。ですが、失敗することは次へ生かすことができ、大学生の今だからできることだと思います。なので、失敗しても大丈夫、という気持ちで挑戦できることはどんどん挑戦していきたいです。

WSを通して得たのは学びだけではありません。例えば社会人や先輩方のPTT、喋り方、姿勢、発言などです。社会人交流会に入った時から思っていましたが、明らかに自分とは違います。なぜだろう不思議でしたが、今回のWSで、このような経験を重ねたからこそついた力なのだと思いました。まだまだ未熟ですが、自分ももっと経験を重ねて、先輩方のようになりたいです。

今後の私の目標は、「堂々と前に出て発表すること」です。そのために、チャンスを逃さず場数を踏んでいきます。そして、経験から自己分析し、将来を見据えながら活動していきたいと思います。

大東文化大学　経済学部　1年　高野直紀

今回、初めて参加したWSでは、沢山の社会人の先輩方に色々なお話しを伺うことが出来ました。その時、お聞きしたお話しの１つ１つがとても印象に残り、充実した時間を過ごすことが出来たとともに沢山の気づき、学びを得ることが出来ました。目標を持って行動すること、大学はチャレンジできる場であるから、積極的に色々なことに挑戦すること、アカデミーでの活動を通して沢山の人と関わることで、人脈を広げること、地位と環境が人を変えること、自分自身の才能とそれを発揮できる環境を知ること、将来自分という乗り物を乗りこなすために経験値を増やすことの大切さ、逆算して物事を考えることの大切さなど、今までの自分が全く意識してなかったことを沢山知ることが出来ました。また、６月１９日に行われたWS報告会に向けて行われた、班での準備活動でも沢山の経験を積むことが出来ました。今までに、あまり行ってこなかったディスカッションでは初めは自分の意見をまとめることが精一杯であまり発言できないでいました。しかし、段々慣れていくうちに素早く自分の意見をまとめて発言できるようになりました。今後も自分の意見がしっかり言えるように、このことを生かしていきたいと思います。また、夜遅くまで作業したり、何回も原稿を読む練習したりと、いい経験を沢山することが出来ました。そして本番では、緊張で足が震えてしまった部分がありましたが、今までの準備や練習の成果を発揮して、いい報告が出来たと思うので良かったです。これからもアカデミー活動をしていく中で今回身につけたことをしっかりと実践していきたいと思います。

大東文化大学　経済学部　1年　飛田和慶人

WSでの社会人のお話から、たくさんの為になる情報を得ることができました。その中でもお話を聞いていく中で、日々目標立てを行っていくことがよいということを学びました。WSでお話を聞く際にも、ただ漠然とお話を聞くよりも自分に何が不足していて、何をこれから身につけたいのかを明確にして聞くことで、より一層自己成長につながると思いました。また、WSだけに限らず、社会人との交流や発表、意見を言う場が設けられていることによって、普段の大学生活では経験するこのできないような体験ができます。そして、社会に出たときに必要になってくる敬語やメールのマナー、文章力なども場数をこなしていくことによって身につけることができ、このサークルで学ぶことのできる体験はどれも貴重だと思いました。今後のWS活動では、うまく意見がまとまらず、あくせくしてしまうことがあるので、意見を言う場で簡潔に意見を言えるように努力していきたいです。

最後に、これからこのサークルで活動して行く上で、たくさんの体験が待っていると思います。その中には悩んで苦しむことやとても楽しいと思えることもあると思います。全部をひっくるめて、自分がこれからさらに成長していけるように、日々精進していきたいと思います。

大東文化大学 文学部 1年 平野みずき

5月17日から始まり6月19日の報告会を経て、春季ワークショップの全日程が終了しました。社会人の方から貴重なお話を頂くという初めての経験は私にとって、とても魅力的なものになりました。その中で私が特に大きな学びを得たお話は、自分を知るということです。失敗をしてしまってもそれは自分の苦手なことだと再確認できるので、プラスになることがわかりました。私は、これまで失敗をするのが怖くて実行したことがほとんど無いので、このお話は大変感銘を受けました。これからは、アカデミー活動や普段の生活で、初めてのことを目の前にした時は一歩踏み出して行動していきたいです。そして自分の知らなかった一面を知ることを積み重ねていき、今後自分の才能が発揮される環境に身を置きたいと思います。

また、ワークショップでディスカッションの方法を学べました。話し合いを円滑に進めるために司会者や書記を置くこと、意見がぶつかってしまったときにどう対処していけばいいかなど、回数を重ねるごとに最初は難しいと感じていたディスカッションのコツがつかめたような気がします。夏合宿などでまたディスカッションをする場面があると思うので今回学んだことを生かしていきたいと思います。

大東文化大学　経営学部　1 年　平野莉菜

今回初めてのワークショップに参加させてもらって、大学生活に対する意識が変わりました。ワークショップ参加以前は、大学に入学できたことに満足して、なんとなく授業に参加して、単位を無事取得して、就職できれば特に大学生活で何かしようという考えが頭になかったです。しかし、ワークショップで社会人の先輩のお話を聞いて、このままなんとなく 過ごして大学生活を過ごしてはいけないと思えました。社会人の先輩は、目標を立て、その 目標を達成するために逆算して行動すること。人脈を広げること。挑戦することの大切さ。 この三つのことの大切さが特に印象に残りました。この社会人交流会で活動をしていくこ とでこの三つのことは実践出来ると思うので意識して活動していきたいです。特に人脈を 広げることは、このサークルは人数が多く、卒業生の方もたくさんいらっしゃるので、自分 から話しかけて人と接する機会を増やしていきたいです。また、挑戦することも、私は、人 前で発言することが苦手なので、自ら人前にでることに挑戦していきたいです。 このようなワークショップに参加することができたのは、このサークルに入ることがで きたからということと、梅沢先生がこのような機会を作ってくださったからなので、感謝の 気持ちでいっぱいです。私は、ワークショップに参加した数が少なかったことを後悔しています。ですから、今後このような機会を設けて頂いたら、すべてに参加できるぐらい活動に 力を入れたいです

大東文化大学　法学部　１年　星野和也

　私がこのワークショップに参加して思ったことは、するべきことを徹底するべきことです。先輩方が、仰っていたことで、共通しているのは目標に対して逆算するなどです。しかし、振り返ってみるとこのするべきことを徹底できていなかったとかんじています。少なくとも、今は実行して少しでも力をつけていきたいです。私はまだ１年生ということで、将来に対してぼんやりとした不安があります。しかし、今回の先輩方が仰っていたことを、他人のことと捉えずに、自分のこととして考えていきたいです。それと同時に、いま自分が設定した目標について達成するために、日々新たに過ごしていきたいです。また、普段のサークルでの課題としては班員との共感性の向上を目指そうとおもっています。実を言うと、私は班員とでは意見が合わず、班員に合わせるより、班員が自分に合わせるべきと考えていた時期もありました。しかし、今回の発表準備では、やはりチームワークが要になると、改めて実感しました。そこで、今後は自分が班員と意見を合わせるようにできるだけしたいと思い、修正していこうと思っています。

全体を通して、日々の生活を注意深く捉え、精進したいと思います。

大東文化大学　法学部　1年　吉田裕亮

今まで、大学を卒業しそれぞれの就職先へ進んでいった先輩方の講演会であるワークショップに参加してきて思ったことは人によっては色々とありますが、共通して思ったことはどの先輩方も明るく生き生きと自分の大学生活のことや就職先のことを話していたということです。

自分の大学に入学したのは人によって様々でしたが、大学で意欲的に物事に取り組んだことや社会人交流会でのサークル活動であったりと学生生活の日々の中で、積極的に自ら行動したり自分の目標を作ってその目標を達成するために努力していたということがどの人からも伝わりました。

自分はまだ1年生でありまだまだ未熟者で先が長いです。これからの学生生活や将来のことなど分からないことだらけで先が真っ暗です。ですが、ワークショップで講演会をしてくださる数々の先輩方はこれまでの人生で成功や失敗を積み重ねてきた方々だと思うので、それらの経験を参考にして自分にプラスになるようにしていきたいと思いました。

そのためにまず、自分の明確な目標を決めるようにしたいと思いました。先輩方の話を聞いて目標を決めることで自分のモチベーションも上がると分かったからです。そこから明確な目標を決めてそれを達成できるように日々頑張れるようにしたいと思います。

（９班）

大東文化大学 国際関係学部1年 上野真依

 このサークルに入ってから初めての大きな活動としてワークショップに参加しました。大東文化大学や東洋大学、日本大学のOBやOGの幅広い方達のお話を聞くことができ、大学に入学してまだ2、3ヶ月にもかかわらずとてもいい経験をすることが出来ました。社会人の方達の『私の大学4年間』についてのお話を聞き、どの方達も沢山の試行錯誤を繰り返し、意識を高く持ち続けたことで今の姿があるのだということがわかりました。そして皆さんがこのサークルやサークルの仲間達のことが本当に大好きで大切になさっていることも伝わってきました。

 沢山の方達のお話をお聞きした中で、特に印象に残っているのが遠藤菜摘様です。第3回のワークショップには最後しか参加出来なかったのですが、遠藤様の堂々としていて、はきはきと講演をなさっている姿にすぐに惹きつけられました。又、遠藤様の何ごともポジティブに捉える考え方は聞いていて快いものでしたし、話されている遠藤様自身がポジティブなオーラで溢れていて、私もそういう雰囲気を周りに与えられる様な人になりたいと思いました。

 他にも、それぞれの方達のお話に見習いたいと思うことが沢山あり、報告会では他の人達の感じ方、考え方を知り、それらを通して大変学びの多い充実した時間だったと改めて感じました。しかし、報告会へ向けての準備に関しては班長や他の班員の人達に頼ってしまった部分が多く、次回では納得のいく貢献をしたいです。

大東文化大学 法学部1年 梅林傳嗣郎

ワークショップ参加前の私は高校生の気分が抜けきれずにいました。もう大学生になったのだから大人の対応が求められてくると頭では分かっていても大人の対応とは具体的に何なのか分かっていませんでした。ですが、ワークショップの活動をしていく中で少し分かった気がします。先輩社会人の方のお話について班でディスカッションをしていて自分の考えを述べることだけが大切な訳ではなく、それ以上に他の人の考えを聞いて班としての考えをまとめるほうが大切で難しいことなのだと分かりました。また、報告会に向けての原稿作りでは学びに対して今後の自分たちについての部分が文章として矛盾していないか、表現が正しいかなどを時間をかけてやりました。その中で私自身の語彙力と表現力の貧しさに気がつきました。そして、先輩方の的確なアドバイスは私も一年後にはこのようなアドバイスができるようにならなければと刺激を受けました。

報告会当日は班の中で私が一番緊張していたと思います。発表しているときは手の震えが止まらず会場を見渡す余裕などありませんでした。緊張しないことはあまり良くないと言われますが、私の場合緊張し過ぎてしまうので直していきたいと思います。

報告会を終えた今、私はいつまでも受け身の状態で活動していてはいけないと思っています。一年後には後輩にアドバイスする側になるので先輩方のいいところを吸収しつつ自分から行動して、人前で話すときに緊張し過ぎないためにも発言するチャンスがあれば逃さないようにしたいです。任された仕事が嫌な事ことであってもそんなことは関係なく責任をもってやること、また、その仕事を任されたパートナーが気が合わない人であってもうまくやることが大人の対応の一つだと思うのでそれらの力をつけていきたいです。

大東文化大学 国際関係学部1年 大家有理

今回初めてのワークショップ報告会を終え、今までの活動を振り返ってみると私には反省すべき点が多々ありました。私は私用によってワークショップに伴う準備活動を休んでしまうことが多く、積極的に活動に取り組むことができませんでした。しかし、先輩方が積極的にアドバイスをしてくださりパワーポイントの使い方などを教えてくださり今後の活動の参考になりました。また、私が休んでしまった際に同じ班のメンバーが助けてくれたおかげでスムーズに原稿やパワーポイントの準備をすることができました。

ワークショップでの先輩方のお話を聞いて目標、自己分析、積極性をテーマにこれまで準備活動をしてきたうえで、私が本当に学んだことは自分自身を見つめなおして何事も上手くいくという前向きな姿勢を維持することが大切だということです。また、この人のようになりたいという目標となる人を見つけてその人に近づくためには努力することが必要なのだと改めて感じました。

今回、このような班活動を通してチームワークの重要性や自分の考えをしっかり持つことが非常に大事になるのだと実感することができました。これからもこの班のメンバーと日々切磋琢磨して今後の活動に励んでいきたいと思いました。

東洋大学 理工学部1年 佐藤大輝

今までのワークショップを通して色々な知識得て貴重な経験をすることができた。自分は東洋生で他の大東生と比べてワークショップに参加できる時間は少なかったのはとても残念であったが、得ることはたくさんあった。直接社会で活躍している人の話を聞くことは滅多にない機会だし、また他の場所で話を聞くことができたとしても学生時代どのようにしてきたか具体的には話してくれないことが多いはずである。しかしこのワークショップでは今活躍している社会人のお話の中で学生時代の頃の話はもちろん社会に出てからどうなのか、自分たち学生に向けてどなたも丁寧に話してくれる。お話してくれた社会人の中で自分に似た状況に陥っていた方がおり、その時どうするべきなのかその人がしていたことも視野に入れて自分の進むべき道を自分自身と向き合いながら考えることもできた。勉強にもなるし、人それぞれ考え方の違いにも気づかされ物事を色々な観点で見ることができるようになった。ぜひ今後もこのワークショップを通して自分磨きを続けていきたいと思う。

東洋大学 理工学部１年 鈴木蒼良

私はワークショップ活動を通してたくさんのことを学び、報告会で登壇させてもらうことができました。ワークショップに参加できた回数が2回にもかかわらず、班長の交渉、そして梅沢先生に登壇の許可を頂き、感謝の気持ちでいっぱいでした。その2回のうち1回のワークショップで上迫さんのお話しを聞いて、インターンシップに興味が湧きました。内気な性格から積極的な性格に変わったり、その企業が後の就職先になったりと、とても影響力のあるものだと思いました。自分の希望に近い企業があれば是非参加してみたいと思いました。そしてお話を聞いた後に班の皆でディスカッションし、意見を上手く纏め原稿作りをしていく作業はとても難しかったですがやりがいのあるものでした。またパワーポイント作成の術を先輩から教わったりと、班の人たちからも多く学ぶことができました。報告会の日は大勢の人を前にして少し緊張しました。私はパワーポイントの表示タイミングを少しミスしてしまいまいしたが、原稿を読むことに関しては目立ったミスをしませんでした。失敗も次の活動に生かしていこうと思いました。グループ研究も積極的に参加し頑張っていきたいと思います。

大東文化大学 経営学部1年 立麻佑樹

 私は今回初めてワークショップに参加させていただき思ったことは、ディスカッションの大切さ、このサークルの素晴らしさ、班員とのコミュニケーションの大切さについてです。

 まずディスカッションの大切さについては、原稿を書く時に感じました。しっかりディスカッションができておらず、原稿を書くのに苦労していましたが、ディスカッションをすることにより、内容について深く考えることができ、より深みのある原稿が書けたと思います。

 次にこのサークルの素晴らしさです。卒業し、就職したかなりの先輩方が講演を行ってくださり、大変感銘を受けると共にこのサークルの素晴らしさを改めて感じさせられました。どの先輩方も、自分が成長するにはどうしたらいいかを本音で語ってくださり、大変為になりました。

 最後に班員とのコミュニケーションの大切さについてです。最初の方にまだあまり仲の良くなかった班員とディスカッションしても、あまり意見交換ができず、戸惑ってしまいました。しかし、班の先輩方も交えご飯を食べに行ったりすることにより段々と打ち解けることができ、ディスカッションもうまくできるようになり、班員とのコミュニケーションの大切さについて学ぶことができました。

 私は今回、普通の大学生には経験することのないような素晴らしい体験ができ、自分にとってかなり成長できる機会を得られ、ワークショップ活動をやって良かったと思いました。

大東文化大学 外国語学部1年 西田健人

　今回のワークショップでは、貴重な経験をさせて頂きました。大東文化大学や日本大学を卒業された、今社会で活躍されている社会人の方々がどのような学生生活をしてきたか、お仕事でどのような実績を残したか、また、先輩方のようになるためにはどのような意識や態度で私たちが学生生活を送っていけばいいのかなどお話を頂きました。しかし、ワークショップではただお話を聞いて終わりではなく、そのお話に対して自分はどんなことを思ったか、そして何をすれば良いのかを考え、それをグループ発表のために一意見として発表しました。自分の思ったこと、考えたことを素直に自分以外の人に伝えることは今まであまり機会は無く、逆にほかの人が何を思って何を考えたのか聞く機会も無かったので新鮮で面白かったです。しかし私はあまり参加ができなかったので壇上にも上がれず、意見もたくさん出すことができませんでした。そのせいで班のみなさんには迷惑をかけてしまいました。本当に申し訳なかったです。

また、私の分まで壇上に上がって報告してくれた3人はとても立派で感動しました。本当に感謝しています。また、今回の活動で2、3、4年生の先輩方にも大変お世話になりました。先輩方は、目に見えているところ、見えていないところでも私たち新規生のために夜遅くまで頑張ってくれていました。先輩方にも本当に感謝しています。

今回の活動を通して新しい仲間ができ、仲間の大切さ、心強さなど、一人だけでは成し遂げられなかったことを通して学びました。私も社会人の先輩、既存生の先輩方のように立派で人間力のある周りに慕われる人になれるように、今回のワークショップで学んだことを意識しながら日々を過ごしていきたいです。

東洋大学 理工学部1年 新田恕経

今回、WS報告会に向けての活動に参加させて頂いてとても力になりました。やること全てが私にとって初めてだったのでとても大変でした。特にお話をお聞きする前の自分と受けた後の自分の変化したところを文章にするのが難しかったです。自分をしっかり見つめて今後にどうやって活かすのかを考えたことが今まであまりなかったので、自分自身を見直すとてもいい機会になりました。私たちが考えた文を先輩方に添削してもらい、誤字だったり文章表現がおかしかったりなど指摘してもらえてとても助かりましたし、勉強になりました。ただ、報告会に向けての準備期間が私の大学のテスト期間と重なってしまい、あまり活動に参加できなかったことに少し後悔があります。仕方のないことですがもう少し班に顔を出してみんなと作業できたのではないかと終わってから思いました。私は今回みんなと原稿を一緒に考えるくらいしかできなかったので、次の活動からはもっと積極的に班活動で自分のやるべきことをしっかり行っていこうと思います。

私は理系の学科であり、文系向けの企業の方々のお話が多い中でこのサークルに参加する意味があるのかと最初は思いましたが、このサークルを続けていくことで文系理系問わず社会人になることへのスキルアップができると考えが変わりました。辛い時もあると覚悟を持って今後もこの社会人交流会サークルに参加し続けようと思います。

大東文化大学 経営学部1年 松本拓也

今回初めてのワークショップを経験してやっと社会人交流会に入ったのだと実感した。報告会までの日々は確かに今まで経験したことがない、社会人交流会に入ってなければ一年生のうちからできないことを体験することができた。就職活動のことは兄からよく話を聞くが、年がわりと近い社会人の方の話は聞く機会はほとんどないので新鮮だった。数年前大学生だった社会人の方から聞くお話は身近なことに感じられ、メモを取り忘れて聞くのに没頭してしまうぐらい興味を引くもので、今後の学校生活をどう送るかを改めて考えさせられるものだった。

班での報告会に向けての原稿作りでは既存生の存在感の大きさに気付かされた。同じ一年生のまとめ方や、物事の考え方まで参考にすることが多く、たくさんのことを学ぶことができたが、自分のこれから同じようなことができるか不安になってきた。今回の活動で目標とする先輩と出会えたので、先輩を観察して技を盗んでいこうと思った。今回の報告会では私用のため参加できなかったが社会人交流会に入った理由である「人前で話す」と「自分の意見をストレートに伝える」を達成するために今まで以上に気合を入れて今後の活動に参加していきたいと思う。

（１０班）

大東文化大学　外国語学部　1年　荒井静香

私はあまり参加できなかったので、報告会には出られず、他の人たちよりもこのWSを通して得たことは少ないですが、社会人のお話はしっかりと心に響きました。今まで直接社会人の方の就活体験談や、就職後のお話を聞く機会がなかったので、良い経験になりました。先輩方はとてもはきはきと話し、輝いていたので、私もそんな素敵な社会人になりたいと思いました。グループ内のディスカッションでは、自分たちが社会人のお話を聞いて何に共感したか、何に興味を持ったか意見を出し合い、そのテーマに沿ったディスカッションをしました。そこで報告会へ向けての準備が始まり、私たちは話す文章や、パワーポイントの作成もしました。初めての経験だったのでわからないことばかりでしたが、2、3年生の先輩方が何度も助けてくれて、大変勉強になりました。報告会のリハーサルでは、4年生の先輩方が各グループの発表を見てくださり、私も見ていた立場ですが、最後に注意点やアドバイスを出してくれ、さすが4年生だなというコメントばかりでした。これからまた秋季WSがありますが、それにはしっかり出席したいと思っています。次の報告会では、今回学んだことを活かして挑んでいきたいです。

大東文化大学　環境創造学部　1年　岩田治三

今回初めて春季ワークショップ報告会に参加させていただいて、数多くのことが学べ、とても良い経験ができて本当に良かったです。お話をして下さった講師の方々は、どなたも話している姿が堂々としていてオーラがあり格好良かったので、私もこのサークルを続けて先輩方と同じようになりたいと強く感じました。また、講師の方のお話で「何事にも目標を持つ」という言葉が強く印象に残りました。何事も目標を定めて行動することで、自分が何をするのが一番いいのかが明確になると思います。そして、私はこれからの大学生活4年間で勉強も大切ですが、人としてのスキルを向上させることを目標にしようと考えました。その目標を実現させるために様々な事に挑戦し、最後まで責任を持ってやり遂げたくさんの経験を積んでいきたいです。今回のワークショップでは講師の方々以外にも先輩方からパワーポイントの使い方、作り方や人の前で話す時に注意する事などたくさんの事を教えていただいてとても勉強になりました。春季ワークショップでは人に頼ってばかりになってしまっていたので、秋季や来年の春季では私が周りを引っ張っていけるようになりたいです。この様な素晴らしい事が多く学ぶことが出来る社会人交流会をこれからも続けていきたいです。

大東文化大学 経営学部　1年　国島拓己

WS活動をして自分は、今まで経験することができなかったたくさんのことを学ぶことが出来ました。まず、今回の活動に参加するのは少しめんどくさそうでやりたくない気持ちが強かったです。しかし周りのみんなで真面目に就職について社会人の皆様にお話を聞きそれをまとめて、ディスカッションをしたりすることが後半からとてもやり遂げたい気持ちにかわりました。このサークルに参加しなければ今回のような機会に巡り会うこともできなかったでしょうし、今のサークルの仲間に出会うこともできなかったと思います。なので、このサークルには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。その仲間達とたくさんの話をしていくにつれて、この大学に入って将来に不安があり、その不安を無くしてくれるのはこのサークルなのだとわかりました。これからもたくさんの行事に期待が高まり、すごく楽しみです。そしてWS活動が終わった今では、自分がこれから先、大学生活で何をしなくては行けないのかが明確になることが出来ました。それをこれから目標に大学生活を頑張ろうと思います。このサークルでの活動に自分は力を入れ、仲間と共に切磋琢磨してより充実した活動をしていけるように頑張ります。そのためにもまずはこのサークルを継続して、今よりも仲間と交流を深め、今よりも良いサークルになるように先輩方に協力して行動します。

大東文化大学　法学部　1年　西條将矢

私は今回の春季ワークショップに参加させていただいたことにより、6月19日に行われたワークショップ報告会で報告させていただいたこと以外にも、数多くの事に気づくことができました。その気づきの中で最も大事だと感じたのは、社会人交流会という場を利用して、多くの人と友好関係を築くということです。これまでの私は、あまり他人との関係を築くということに対して積極的になれていませんでした。しかし、ワークショップで先輩方のお話をお聞きしているうちに、今まで他人と積極的に関わりを持とうとしなかった事で、多くの損をして来てしまっているのではないかと考えるようになっていきました。この事から、少しずつ他人と積極的に関わりを持てるようにしようと思いました。また、ワークショップ報告会に向けての準備では、パワーポイントや報告のための原稿の作成、多くの人の前での報告という普通の大学生活の中では経験することの出来ない事をさせていただきました。私は今までに経験した事がなかった事だったので、とても不安に感じていました。しかし、同じ班の先輩方が1から10まで丁寧に教えて下さった事により、報告会が近づいていくほどに、不安が無くなっていくように感じる事が出来ました。その理由は、先輩方が私たち新規生の見えないところで報告会の準備を進めてくれたからだと思い、改めて、とても凄い先輩方なのだと感じました。そのような先輩方に少しでも近づくために、これからの社会人交流会の活動に参加していこうと思います。

大東文化大学　文学部　１年　齊藤愛奈

私は元々人前に立つことが苦手で、大勢の人を目の前にするとなかなか上手に話せなくなってしまいます。なので、自信を持って登壇できるのかとても不安でした。ですが、先輩からのアドバイス、リハーサルを通して報告会当日は上手に話すことができました。報告会までの準備期間では友情関係で色々悩んだりしましたが、先輩達が相談に乗ってくれたり、優しく声かけてくれたお陰でここまでやってこられました。先輩に恵まれ、本当に感謝しています。このような貴重な経験をし、私自身成長できたのではないかと感じています。これからも、このような経験をたくさんして積極的に意見が言えるようになったり、相手に上手く言葉を伝えられたりできるようになりたいです。そして、先輩や同期の人達ともっと仲良くなれればいいなと思っています。私も後輩ができた時、先輩のような尊敬される存在になりたいです。また、10班の班員の一人としてこの報告会に参加できて、本当に良かったです。今回はこのような貴重な機会を与えて下さり、誠にありがとうございました。

大東文化大学　経営学部　1年　澁木大地

これまでのワークショップと報告会を終えて今まで何も目標を見つけないで日常を送ってきた自分が目標を見つけ、それを目標に頑張ろうと思えるきっかけになりました。特に「やりたいと思ったことはどんどんチャレンジしよう。失敗を恐れては何も始まらない。」と言うお話はとても刺激になりました。もし失敗しても後悔するだけではなく次自分が何をしてどう行動すべきか前向きに考える大切さを知りました。そして成功したら新たに別のことに挑戦していきたいと思います。これから夏合宿や先輩との関わりもたくさん増えるので、1人で壁を作らず分け隔てなく歩みよりたいです。まずは10班のみんなともっとなんでも言い合える仲になることを心がけ他の班とも交流を増やしていきたいです。そして自分の目標を同期、先輩と一緒に目指していきたいと思います。

大東文化大学　経営学部　1年　鈴木智有

私は今回のWSに参加させていただき多くの事を学ばせていただいたと感じています。はじめに社会人交流会に参加させていただいたきっかけは大東文化大学で行っていたサークル説明会です。私は今回WS報告会で多くの方がおっしゃっていたような「大東文化大学へ入学したコンプレックス」や「就職への不安」などは実はあまりありませんでした。大学受験では第一志望には入学できませんでしたがそこまで大失敗といった感覚がなかったからです。私がサークル説明会にて社会人交流会に強く惹かれた理由は、本気で打込めそうだと思ったからでした。中学、高校と部活動に全力で打ち込んでいたので中途半端なことは嫌いで、自分自身をスキルアップさせることができることに全力で打ち込みたいと思っていました。しかし初めは、このサークルで大丈夫なのか少し疑問にも思っていました。新歓にて先輩方にとても仲良くしていただいたので参加しようと思い、とりあえず参加しているような状況でした。ですが、WSが始まり私の疑問は吹き飛びました。初めに川股様、藤巻様に大変興味深いお話をいただき、もっと沢山の先輩方のお話を聞きたいと強く思うようになりました。特に私が印象に残っているお話は吉田様のお話です。吉田様に「議論がしたくても誰も反論してこない。どうしたらよいのでしょうか？」といった旨の質問をさせていただいた際、吉田様に「言い方を変えて相手に受け入れられるような言い方にしてみたらどうか」と言う回答をいただきました。数日後、私が浪人生の友達と話しているときでした。私は浪人したことを悔いている友達にどうしたら自信を持ってもらえるのかわからず、つい強い言葉を言いそうになりました。しかし吉田様のお話を思い出し、柔らかい言葉で話しをするとその後の会話は上手くいき、友達と円滑に会話することが出来ました。この経験から私は、今回のWSは本当に私の日常生活で役に立つのだと実感し、より一層WS活動に力を入れていくことが出来たと思います。また、同じ班の先輩方には多くのことをご指導いただきました。とても身近に接していただき、細かなところにまで気を遣っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。私は先輩方のような先輩になることを第一の目標にしたいと考えています。これからもサークル活動に全力で取り組み、自身の日常生活に活かし、先輩方のような素敵な先輩になりたいです。

大東文化大学　環境創造学部　1年　西谷尚也

入学当初、キャンパス内で道に迷っていた時に先輩が優しく助けてくれました。その時に社会人交流会というのを勧めてくださったのが、今のワークショップ１０班の２年生の南雲先輩でした。その後、運よく同じ１０班に所属することになり、南雲先輩と一緒に活動できることを嬉しく思いました。今回のワークショップは初めてのグループ活動ということで、先輩社会人の話を聴くこと（メモの取り方やディスカッションでの意見の述べ方など）や報告会の準備において右も左も分からない状態でしたが、南雲先輩を始め同じ班の先輩方が常にフォローしてくださったため、安心して活動に望むことができました。活動をしていくうえで、他学部の友達もでき、パワーポイントの使い方も教わって自分の成長を感じることができました。報告会直前には火曜以外にも活動があって、自分の時間がなくなった日もありましたが、みんなでご飯に行ったり休み時間に雑談をしたりしてその分班のメンバーとより仲が深くなったので、充実した日々を過ごせたと思います。まだ社会人交流会に入って３か月も経ってないですが、この短い期間で多くのことを経験し、自分の力になることを学ぶことができました。これから合宿やインターンシップなど様々な活動がありますが、１年生のうちは先輩方の背中を見て学び、来年度、自分が先輩になった時に新しくできた後輩にここで経験したことや学んだことを伝えていきたいと思います。

大東文化大学　経済学部　１年　花田貴輝

ワークショップを終えて、私は、大きく成長をしました。大学に入ったばかりの私は、この短い４年間をどのように過ごせばよいか不安でした。将来の夢が見つかっておらず、どう見つけたらよいかわかりませんでした。しかし、ワークショップで社会人の方々のお話をお聞ききして私は、「あのように人前で堂々と話し、自信に満ちあふれた人になりたい」と思いました。ほとんどの講師の方々は、４年間社会人交流会に入り、一生懸命活動してきたからこのようになれたのだとおっしゃっていました。そのお話が印象に残ったので私は、最初の大きなイベントであるワークショップ報告会に向けて積極的に参加していこうと思いました。ワークショップでは、ただ講師の方々のお話をお聞きするだけではなく、自主的に質問したり、報告会の準備に積極的に参加したりするなど、自分のできることからやってみようと思いました。私は、報告会の原稿を作ることになりました。しかし、私は、文章を考えたりすることが苦手でした。そのため、自分が与えられた役割を果たせるか少し不安がありました。しかし、先輩が、２時間、３時間もマンツーマンで添削をしてくれたので、自分の考えをうまく文章にすることができました。報告会当日、私は、人前に出ることが苦手で、今までずっと裏方の仕事ばかりに逃げていました。しかし、この報告会という場で、班の中で一番に読むことになりました。自信をつけるために、土日や前日の夜に練習をしました。ところが、本番では緊張で足や手、声までも震えてしまい、後続の人に不安を与えてしまいました。私は、講師の方々のようなあの堂々と人前で話す人になりたいという目標が自分にとってどれほど高い目標なのか痛感しました。しかし私は、このような報告会での経験をただの失敗談だけにするのではなく、目標の自分になるための経験と考えました。このように、私がポジティブな考えになったのもワークショップの講師の方々のお陰です。この短い期間で、自分の将来に対する考え方がいい方向に変わっていったことが分かり、この社会人交流会は勉強以外の大切なことが得られる場所だと確信し、もっと積極的に参加しようと思いました。

大東文化大学　経営学部　1年　野田伊吹

私は社会人交流会に入ってからまだ日が浅く、わからないことも多くて戸惑う場面もありましたが、先輩方のサポートのおかげでなんとかワークショップを終えることができました。まだまだわからないことはたくさんありますが、先輩方の姿を見て少しでも成長できたと思います。パソコンを使って原稿やパワーポイントを作成する際に、同期との交流や意見を言い合うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また、ワークショップで梅沢先生のお話を聞いたり、社会人交流会のOB・OGで現在社会人として働いている方々の話を直接聞いたりすることができたので、とても貴重な経験ができました。このような機会は普段の生活では味わえないことなので、こういった活動には積極的に参加していきたいと思いました。今後は、このサークルで学んだことを活かしてこれからの様々な困難を乗り越えていきたいと思います。今回はワークショップ報告会で登壇することが出来なかったので、もし次回登壇する機会があったら積極的に参加していきたいです。

（１１班）

日本大学 経済学科　1年 嵩井涼平
今回のワークショップに参加して、1年生のうちから様々なことに取り組むことが改めて重要だと感じました。
先輩社会人の方々は大人数の前でも堂々と発表していて、それを裏付けるのはこのアカデミー活動を通しての4年間があったからこそなのだなと思いました。
ワークショップで先輩社会人の方々のお話や姿勢などから、早い段階から積極的に活動に参加していた経験は就活や社会に出てからも活躍できる力に繋がると強く思いました。
そのため、自分も1年生のうちからアカデミー活動に積極的にチャレンジしていきたいと思いました。
1年生のうちからでも、大勢の人の前で話す力、ビジネスメールのやり取りやパワーポイントの製作技術等学べることはたくさんあるので、まずは基礎的なことを学びたいです。
そして、2年3年になり新しく入ってくる後輩をサポートする役割も果たしながらも、幹事や班長などの役職を務めていきたいと思っています。
アカデミーでも社会でも活躍できるようになるためには、1年生のうちからできることをやり、しっかりと力をつけてから上級生になりたいと思いました。
次へと繋がるような基礎的な力を身につけてから、重要な役割を任せてもいいと思えるような人間になりたいです。
自分もいつか大勢の人の前で発表することができるようになりたいと感じたワークショップでした。これからのアカデミー活動も積極的に参加していきたいと思います。

日本大学　経済学科　1年　髙橋昂大朗

先日はワークショップ報告会に参加させていただきありがとうございました。わたくしは人前で話す機会というものがなく、今後の学生生活に大変役立つ経験をさせていただいたことに感謝しております。

さて今回のワークショップの感想は大きく分けて2つあります。1つ目は計画性の無さです。班長がスケジューリングを作成してくれたのにも関わらず、自分は集まりにあまり参加することができませんでした。大人数でディスカッションしてよい意見が出るものだと思うので、次回は集まりがあれば必ず参加できるようにしたいです。2つ目はもう少し話す内容の範囲を多様にすればよかったことです。先生もおっしゃっていましたが、佐々木様の堂々としたふるまいや、後藤様の面倒見の良さについて触れればよかったと反省しております。今回得た反省点を今後のアカデミー生活で生かしていきたいと思っております。

日本大学　経済学科　1年　出崎葵

ワークショップ参加以前の私は、大学4年間でしたいことや目標、卒業後にこうなっていたらいいという理想の姿などはなにも持っていませんでした。ただ単位を取って、なんとなく過ごし、なんとなく就職するだろうと思っていましたし、それでいいと思っていました。

しかし、今回のワークショップに参加して、それではだめだと思うようになりました。社会人の先輩方から大学生の時にやらないで後悔したことや、やってよかったことを聞いたからです。社会人の方のお話を直接聞くような機会はなかなかないことだと思います。その機会をいただいて、直接お話を聞けたことは自分にとってとても大きなことでした。先輩方が大学生のうちにやっておいてよかったこと、やらずに後悔したことなどをこの4年間でできるだけ挑戦していこうと思いました。そして、このアカデミーの活動を受け身になるのではなく、積極的に何事にも一生懸命に取り組んでいこうと思います。たくさんの経験を重ね、失敗をして、そこから多くのことを学んでいかなければいけないと思います。

また、私の中でこのアカデミー活動に参加して意識が変わった理由がもう一つあります。それは先輩や同期の存在です。このアカデミー全体がとても意識が高く、それに良い影響を受けたと思います。これからの4年間、高い意識を持った先輩や同期がいるこのアカデミーに身を置くことで、自分はより良い方向に変わっていけると思いました。影響を受けたり与え合いながら成長していけるようにしたいです。このワークショップで学んだ多くのことを活かして大学生活をより充実したものにしていこうと思います。

日本大学　経済学部　1年　平石駿人
今回WSに参加して色々な面での成長を実感しました。まず、社会で活躍する先輩方から貴重な体験談やアドバイス、また先輩方の態度から自分の未熟さを知りこれから成長したいと思いました。大学4年間で先輩方のような人間力にすこしでも近づいていく努力をしていきたいです。次に報告会についてですが、私たち11班では最初は班長に任せきりで自分たちはなにもできませんでした。しかしリハーサルが近づくにつれ班員全員が奮起し、夜遅くまで作業したり何日も連続で集まり協力し、最後は納得のいく準備をすることができました。発表では大勢の中で話すことはとても緊張しましたが堂々とでき貴重な経験になりました。自分たち1年はあと3回ワークショップがあるのでこれからはこの経験を生かし、良い先輩としてワークショップを成功をさせたいです。

（１２班）

日本大学　産業経営学科　１年　小澤優

今回ＷＳを経験して一番感じたことは、この梅沢人間力アカデミーを４年間やり抜こうと思ったことです。なぜならＷＳを通じて社会人の先輩方の貴重なお話を聞くことができ、自分も最後までこのサークルで頑張りぬけば先輩のように自分に自信を持って話せるようになれるのかなと思ったからです。

報告会では大勢の人の前で発表をするなどこのサークルに入っていないと経験できない体験をすることができました。正直休みを利用して活動したり、辛いと思うことも多く自分には付いていくのは厳しいなと思ったり、辞めたいと思ったこともありました。しかし同じ班の人たちと協力しあい、報告会を終えたときには達成感を感じることができました。まだまだ緊張してしまい早口になってしまったり、噛んでしまうこともあったので、これからもっとみんなの前で話す経験をして、先輩方のように落ち着いて話せるようになりたいと思いました。

そして報告会では他の班の発表を聞くことができ、このサークルにはたくさんの意識の高い人たちがいるなと感じました。さらにここでは日大以外の他大学の生徒とも関わることができるので、みんなと仲良くなりたいと思いました。

今はまだ１年生で先輩方に頼ってばかりなので、自分が先輩になったら後輩から頼りになる先輩になりたいです。

日本大学　経済学科　1年　奥原健人

私は初めてのワークショップに参加してみて感じたことが3つあります。

1つ目はどの班のワークショップを経験して重要だと感じたことが似通っているということでした。これは私の班にも共通することで、同期との絆・積極性・計画性のある行動などでした。確かにお話を聞かせていただいた講師の方はどこも一緒なので、かぶってしまうのは仕方ないことなのですが、何か他の班と違った注目点が見つけられたらよかったのではないか思いました。

二つ目は大東側のチームワークの良さです。まだ私たちは日大側でほかの班との交流がなく、班の中だけで会話している感じでしたが、大東側は学年関係なく接し、最後の1人一言の場面でも班の中の良さが伝わりました。誰とでもたわいなく接し、意見を交換し合えるという関係は私たちが大切だと感じているコミュニケーション能力の向上につながるとかんじました。

三つめは　同期のアカデミーに対する意識の高さです。このことは1人1言を聞いて感じたのですが、ほとんどの人がはきはきと自分の考えを述べ、30秒を超えている人も稀ではありませんでした。また報告会のときはメモを取る人もいて感心させられました。他人を見て刺激を受けることはいいと思いましたが、それ以上に自分がすでに遅れを取っていると感じました。

以上のように初めてのワークショップ報告会はたくさんのことを学び同期の刺激を受けた良い機会になったと考えました。

日本大学　経済学科　1年　金山紘大

6 月19 日に行われたワークショップ報告会の感想について、私が思ったことは２つほどあります。

まず１つは報告会までの班員全員でのディスカッションです。

約10 回ぐらいのワークショップを通して、学生生活から準備しておかなきゃしてないことや将来必要になることなどを聞き、先輩方を加え、原稿やパワーポントを試行錯誤しながら作り上げたことは初めての体験だったのですごく新鮮でありがたいことだと思いました。

２つ目はワークショップ報告会当日についてです。発表直前まで原稿やパワーポイントの確認をし、何度もリハーサルをして本番に臨もうとする先輩達の姿はとてもかっこよく自分の目に映りました。僕は当日登壇はできなかったのですが発表が始まった時には緊張し、終わった時にはホッとするなどみんなとの一体感があることに気づぎ、自分で思ってるよりもこの居場所が大事なんだと思いました。これからは自分たちが引率する場に立つので先輩方から重要だと思うことを最大限に吸収し、後輩達につなげていければいいなとおもいます。

この経験を活かせるように、また糧として今後のアカデミーに繋げていけたらと思います。

日本大学 経済学科　1年 齋藤 立樹
今回のワークショップは今後4年間の学生生活で何をすれば良いのか、それをいかに活用できるかを見つめ直す良い機会となりました。特に、社会人の方々と直に接してお話を聞く場というものはこのような形でなけければ経験することができませんでした。また、就活で成功した方々、社会に出てから活躍している方々など、今の自分とは何が違っているのかという大変興味深い視点で参加させていただきましたが、物事への姿勢、話し姿、考え方など多くの事を学ぶことができました。そして、ディスカッションをする中で、日常的に意識することができる具体例がいくつも上がりました。特に自分に欠けているコミュニケーション能力は将来的に大事なものになってくる力であるので、たくさんの人と交流し、物怖じしない感覚を身につけたいと思いました。ですが、同時に日常的な、将来的なものも含め、自分の意識の低さが露呈してしまいました。しかし、何もできない、何も知らないからこそ、この梅沢人間力アカデミーを大いに活用して自身を成長させていくことに意義があるということをひしひしと感じました。また、先輩方もそうであったというお話をお聞きして改めてそう思うことができました。これから様々なイベントがありますが、アカデミーの場だけでなく、日頃から身のまわりの方々の良いところを盗んでいこうと思います。

日本大学　経済学科　1年　高橋悦

今回のワークショップ報告会で様々な班の様々な角度から報告、意見を聞いて、今の自分に足りていないものは目標とする人を見つけることだとわかりました。人間力、統率力、発言力などの面で、より理想的な目標になる人を見つけ、その人に追いつけ追い越せの精神で日々の生活を過ごす、また梅沢人間力アカデミーで活動していき、人間力を磨いていきたいです。そんな中、ワークショップ報告で分かりやすくユニークなパワーポイントでハキハキと話す姿、物怖じせず登壇している同期の方々の姿を実際目の当たりにし歴然と差をつけられ、自分の力不足を感じました。その反面、この人たちみたいになりたいという気持ちが生まれました。ワークショップ報告会を機に同期の中での目標を見つけられてよかったです。そして報告会まで私たちを統率し、パワーポイント、原稿作成を事細かく教えてくださった先輩方は目指すべき存在だと思いました。今後はそのような人たちを目指しアカデミー活動に取り組んでいきたいです。

最後に大きな会場で大勢の人の前に立ち、自分の意見を伝える今までに体験したことのない機会を与えてくださったことに本当に感謝しています。今後、このようなイベントやワークショップ報告会での活動で今回のように自分の力不足を痛感していくと思いますが、それは自分を磨く糧になると信じ、これからアカデミー活動に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。

日本大学　経済学科　1年　野苅家誠

今回のワークショップ活動を通して沢山の学んだことがあり、勉強になりました。私の社会人の方のお話中で特に印象に残った言葉、これからやるべきだなと思ったことというものが2つあります。
一つ目は前倒しに物事を考えるということです。このお話を聞いて、私はこれからは準備を怠らないようにすることをこれから心掛けたいと思うようになりました。話を伺う前の私は、資格の勉強や学校の定期テストなどでは、期日に近づいた時に慌ててやっていました。それで検定に落ちてしまったり、テストで思うような結果が出ずにいました。しかし、このワークショップのお話を聞いてそれは自分の準備不足であり、もっと前からやっていれば検定には受かっていたと思うし、テストもいい成績であったと思いました。このお話をもっと前から聞いて実践していれば良かったと残念な気持ちやこれからは前持ってやるというのを心掛けたいと思う気持ちが芽生えました。そして、大学の定期テストや、将来の目標である金融業に関する資格を取り組む意欲が増すきっかけとなりました。
二つ目はコミュニケーション能力がとても大切だということです
私は大学入学当初は勉強だけ誰よりもできてれば良い就職先に就くことができると思っていました。しかしワークショップでお話を聞いてそれは変わりました。コミュニケーション能力は勉強よりも何よりも一番大切だということです。それを、何人もの先輩方の社会人の方からお話を聞いて、コミュニケーション能力はとても大事なことなんだと思うようになりました。私はあがり症であり、何人もの人の前で話すのは苦手です。そのお話を聞いた当初はコミュニケーション能力が人より優れてない自分は大丈夫なんだろうか？という不安がありました。しかし、このサークルでは人前で話す機会が沢山あり、ワークショップ発表会で行った発表はガチガチで緊張してしまいましたが、最後の30秒での感想は自分の言葉で何も見ずに言えて少しは成長できたなと思えるようになりました。また事前の準備、パワーポイントの作成などでは、同じ班の同期の仲間と仲良くなれたし、先輩方の丁寧な指導でほんとに感謝の気持ちで一杯です。サークルの後の飲み会などもあり、このワークショップ活動は班員の団結力がより一層強まったと思っています。
他にも今回のワークショップ活動は沢山の得るもの学習したものがありました。沢山の先輩方のお話、社会人の方々のお話を聞くことができ良かったと思っています。今回のワークショップ活動で先輩方の社会人の方々、アカデミーで色々と教えて下さった先輩方、そしてこの機会を与えてくださった梅沢先生には感謝しきれない気持ちで一杯です。ありがとうございました。これからもインターンに積極的に参加したいし、アカデミー活動をより良くしたいと思うし、学生生活も目標へ向かって頑張りたいと思います。

（１３班）

日本大学　産業経営学科　３年　池田謙人

今回のワークショップを終えて、まず無事に終わらせられて満足しております。パワーポイントに関しては大学1年生の時以来でだいたいわかっていましたが、わからないところもあり勉強になりました。USBメモリの使い方などを初めてしれて今後使えそうだなと思いました。またみんなと協力することの大切さも学ぶことが出来、ひとをまとめることもできたため濃い経験になりました。また発表も久々でしたが小中高のときに生徒会長をやらせていただいたこともあり、緊張せずにできたので昔の自分に感謝しつつ適度な緊張ができてよかったです。OB、OGの方々の話もひとりひとり濃くて自分も仕事を始めたら人に尊敬されるような人にならないといけないと改めて思いました。先輩方も自分の理想のところに就職できており、自分も3年生ではありますが今後はアカデミーでやれることをしっかりやっていきたいと思います。日程が過密で中々班の予定通りには動くことが出来ませんでしたが、なるべく周りに迷惑をかけないことを心がけてできたのでまずまずかなと思います。今後も仲間、特に同期を大事にして計画性を持ってしっかり考えて日々を過ごして行けたらと思います。

日本大学　産業経営学科　１年　稲掛ジョーニみつる

ワークショップ参加前の自分は将来に対して漠然とした不安があったものの学生の内に何をすべきなのかわからずなんとなく大学生活を送っていました。しかし、先輩方の講演をお聞きして特に積極的に行動すること、計画性の重要さ、仲間や友達の大切さを学ぶことができました。さらに、班でのディスカッションや発表を通して、いろいろな人の意見のとらえかたや考え方に関心し自分の視野だけでは気づくことができなかったことにも気づくことができたと思います。

梅沢先生や先輩方のご指摘は思ってもみないところのご指摘で今の自分達では気にしていなかったことやパワーポイントの見やすさ、気づかなかった細かいところの表現まで指導をいただきやはり梅沢先生、先輩方はすごいと思うところやこのようなご指摘やアドバイスをもらうことでより良いプレゼンになることができ、怒られることを恐れずにご指摘やアドバイスを求めることも重要なことだと思いました。

班での発表では、大勢の人の前で話す機会が自分にはほとんどなかったので緊張しましたが、このような体験をすることができるのはこれからの自分の糧になっていくのだと実感しました。ワークショップだけでなくこれから経営研究会で行っていく活動にもっと多く参加してみたいと思いました。

日本大学　経済学科　１年　早川航太

今回のワークショップでは多くの貴重な体験をすることが出来ました。その中でも私は特に三つのことを学びました。

一つ目は、パワーポイントの作り方や原稿の書き方です。今まではパワーポイントを作る機会がなかったので、初めての作成でした。見やすい作り方や工夫などを先輩方に教わり吸収することが出来たと思います。また、原稿については的確なご指摘をいただけたので、原稿の書き方を改めて考えさせられました。

二つ目は、計画性の大切さです。先輩方のお話から計画性が大事だとお聞きしました。発表をするためにパワーポイントや原稿を作成している時に計画性の大切さを実感しました。余裕を持って作成したことにより、手直しや練習の時間を設けることが出来、より良い発表にすることが出来たと思います。

三つ目は、発表する姿勢です。私たちの班が梅沢先生にご指摘されたのは、発表する時の表情でした。もう少し楽しそうに喋りなさいと注意されました。いくら準備をしていたとしても発表できなきゃ意味が無いということに気がつきました。しっかり準備をして、本番でその成果を存分に出せるようにしようと思いました。

以上のこときらワークショップでは多くの経験をし、自分の能力を向上させることが出来たと感じました。

日本大学　産業経営学科　１年　細川凌太郎

今回私は、春季ワークショップに参加し、多くの発見があり、とても大きな刺激を受けました。日大や大東文化の先輩のお話を聞き、出来る先輩はどのように４年間を過ごしたか、またどのような考え方、とらえ方で今を過ごしているかを知れたのは自分にとって大きな財産となりました。それとともに、先輩方の大学生活、及び経営研究科会での活動を学び、お話を聞く以前の自分の意識はとても甘いものだと認識させられました。春季ワークショップが終わり、改めて自分を振り返ってみると自分の考え方が少し変わったように思います。しかしこの変化はこれからの自分にとってとてもいい変化です。先輩や梅沢先生のお話を聞き自分を変えたこの変化は成長とも呼べるだろうし、自分のこれからの大学生活が大きく変わったと思います。ここまで振り返って感じることは、もし今回の春季ワークショップに参加せず、意識の低いまま生活していたらどれほどもったいないことだろうということです。ただなんの目標もなく生きていくのはとても恐ろしいことだと思いました。これらの経験をできるのは、経営研究会の他どこもないだろうと考えさせられました。こういう経験を増やすためこれからも積極的に、活動していこうと思います。

日本大学　経済学科　１年　町田佳穂

ワークショップで様々な方の講演をお聞きして、お話の内容は勿論のこと、その堂々としたお姿に感銘を受けました。講演を聞いた後改めて振り返ると、きっと自分が経験してきたことが自信となり現在の自分に繋がっているのだと感じました。お話の中にあった何事にも積極的に取り組むこと、計画的に行動すること、かけがえのない仲間を作ることなどは、実行するのにとても難しいことではなく、今すぐにでも意識さえすれば変えていけることだと感じました。手の届かない目標ではないからこそ、自分も頑張ろうという向上心をもつことができました。ワークショップは直接社会人の方からお話を聞ける上、人間力アカデミーの先輩ということでとても身近に感じながらお話を聞くことができました。同じアカデミーの先輩が今社会でどのように活躍していらっしゃるのか、どのように頑張ればその先輩方に近づけるのかなど、自分にとってとても良い刺激になりました。ワークショップはとても貴重かつ有難い体験であったと思います。来年度は、まずはできるだけ多くのワークショップに参加したいと思っています。そしてお聞きした講演を全て吸収し自分のものにすることで、自身の成長に繋げていきたいです。

日本大学　経済学科　１年　山崎綾香

 今回ワークショップの報告会を終えて、自分の中で反省したい点としては、班の話し合いや活動にあまり参加出来なかったことです。もっと班の活動に参加することが出来ていたら、自分の意見や考えを述べる機会があったのにもかかわらず、それを自ら逃してしまったからです。またパワーポイントをもっと使いこなせるようになったと思います。そして海保さんは周りの人と協力することが大切だとおっしゃっていましたが、私は自分の作業やパワーポイントの作成など言われたことをやるだけで精一杯になってしまい、むしろ周りの人に頼りっぱなしで協力するまでに至っていなかったと思います。

 次に自分が感じたこととして、先輩との経験値の差を実感しました。これは当たり前のことかもしれませんが、文章の添削やパワーポイントの作成、発表時に使う適切な言葉を考える時など、班で活動していくなかで先輩たちの行動や発言、さまざまなところで感じました。もう1つ感じたこととして、ワークショップ報告会以前の私は人前にでることを極力さけていました。しかし、このワークショップ報告会を経て大勢の前へ出て発表できたことによって、自分にとって人前にでることに対する抵抗が減りました。この経験が人前で堂々と話すことへの自信へとつながりました。

（１４班）

日本大学　金融公共経済学科　1年　新井雄貴

私は、今回の春季ワークショップで多くのことを経験し、そこから多くのことを学ぶことができました。特に、報告会の資料作成の仕方、場数を踏むことの大切さ、積極的に行動することの大切さを学びました。

初めに、報告会の資料作成の仕方についてです。私は、今まで一度もパワーポイントなどの資料を作成したことがありませんでしたので、初めはうまく作ることができなかったのですが、先輩方のご指導のおかげで以前よりはしっかりとしたパワーポイントを作ることができるようになりました。ですから、これからもっとパワーポイントなどの資料を作成して、自分ひとりの力でクオリティの高いものを作れるようになりたいです。

次に、場数を踏むことの大切さについてです。私は、今回のワークショップ報告会で発表しているとき、とても緊張して体がガタガタと震え、しまいには、声まで震えそうになりました。元から人前で発表すると緊張してしまうことがありましたが今回は今までの中でも一番緊張しました。ですから、これからもっと人前で発表して慣れていきたいです。

最後に、積極的に行動することの大切さについてです。私は、今回のワークショップで積極的に班長や班員とコミュニケーションをとりました。そうすることで、速く作業が進み、余った時間で何度も見直すことが出来ました。このことから、私は積極的に行動することは大切であると考えました。これからは他の班の同級生や先輩、他の大学の人たちと積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。

今回のワークショップの活動を通して、私はこのアカデミーでの活動を全力で行うことでこれらの力がつき、そして人間力が向上するのではないかととても思いました。ですから、これからもアカデミー活動を頑張って続けていこうと思います。

日本大学　産業経営学科　1年　黒沢将太

今回のワークショップは、「大変だったけど良い経験になった」、「楽しむことができた」というのが率直な感想でした。ワークショップでは、計10名の先輩社会人の方々から貴重なお話を伺うことができました。そうした経験は、普段何気なく大学生活を過ごしていてはできなかった経験だと思いました。

私自身大学に入学してからこれといった目標もなく、ただなんとなく過ごしていました。そんな時にこの経営研究会を知り、ワークショップに参加しました。そこでお話をしてくださった先輩社会人の方々は皆立ち姿が堂々としていて自信に満ち溢れているように見えました。また、今回のテーマである「私の大学生活4年間」について分かりやすく文章やパワーポイントにまとめていて、1年生の私にも理解できるような作りになっていました。そうしたお話や立ち居振る舞いを見て、私も先輩方のようになりたいと感じました。そのためにはこの経営研究会の活動に積極的に参加することが重要であると考えました。

先輩社会人の方々のお話をパワーポイントでまとめて発表する報告会もまたとてもいい経験になりました。私の班は同期が私以外に1人しかいませんでした。そのため、原稿やパワーポイント制作などは他班よりも負担が大きく、とても大変でした。しかし、負担が大きいということは他の人よりも多くの学びや経験を積むことができたのではないかと思います。また、本当なら辛い作業でも楽しむことができたのは、班長を中心とした先輩方のおかげだと思います。先輩方のアドバイスはとても丁寧で分かりやすかったです。作業の休憩時間や作業が終わった後のアフターケアもしっかりしていただき、非常に充実して本番まで過ごすことができました。班に恵まれたとすごく感じています。報告会本番では、200人を超す人の前で発表しました。とても緊張感のある中で報告を終えた時の達成感はなかなか味わえないものだと感じました。こうした貴重な経験を今後の大学生活に活かしていきたいと思います。

（１５班）

日本大学 金融公共経済学科 １年 菅谷 由美子

 私は春季ワークショップに参加し、社会人の方のお話を生で聞くことや、大勢の人の前で報告会をさせてもらうことができて、終わってみて改めて良い経験ができたと思います。また班活動でのディスカッションを通して以前よりは自分の意見をいうことができたと思います。さらに活動を通して時間をともに過ごしていく中で先輩や同期と仲良くなれたことがとても嬉しいと感じます。
  しかし、今回の春季ワークショップの活動が始まる前に自分の目標としてあげた、自信を持って発言するということは達成したとは言えないと思います。また、ワークショップの質疑応答の場や班活動、報告会での他の班の報告を聞いて先輩だけでなく同期にもすごいと感じた人がたくさんいました。なので、自分も負けないように今後もアカデミー活動にたくさん参加して、自分の目標である自信を持って発言する、という目標を達成できるようにしたいと思います。
 アカデミーの活動に参加した時間はまだ短いけど、良い先輩と同期と内容が濃く、良い時間を過ごすことができたと思います。

日本大学 経済学科 １年 榎本 千春

　今回のWSの報告会までの活動を通してアカデミーの活動や雰囲気を見て取ることができました。私は５人のアカデミーの卒業生である社会人の方々のお話を聞き、自分の今後の生活や将来を考えるとても良い機会になりました。

班活動ではディスカッションやパワポの作成など今までにはやってこなかったような初めての活動を班員と協力しながらできたことに小さな達成感を覚えました。また、報告会では緊張しつつも同期と発表を成功させたことはとても良い経験になったと思います。仲間の大切さや人とのつながりの大切さについてはどのOB・OGの方々もおっしゃっていましたが、班活動後、改めてそのことを実感しました。他にも、大学生のうちにやっておくべきことややらずに後悔したことなど、経験した人しかわからないようなお話も聞くことができたので、自分には何が必要なのか考えて大学生活を後悔のないものにしていきたいと思いました。

　このような社会人の方のお話を聞く機会や人前で発表する機会はこのサークルに入らなければこの時期に経験できなかったことだと思うので、これからもアカデミーの活動に積極的に取り組み、自分を成長させ、他の人と差をつけられるような力を身につけていきたいと思います。

日本大学 経済学科 １年 宮地 駿明

初めての報告会を体験しました。報告会までに多くの現在社会人のアカデミーの先輩のお話をうかがい、そしてアカデミーでの活動が社会に出てからとても生きているということがわかりました。初めアカデミーには大学生活でなにかしておいたほうがいいだろうと思い、なんとなく入りました。ですが、アカデミーを卒業した先輩方のお話をうかがった後ではなんとなくいるだけでは駄目なのだと思います。アカデミーで経験や学んでいくことを身に付け今後に生かして行きたいです。
報告会までの準備は参加出来ない日があり、また先輩に頼っている部分が多かったかなと思います。ですが、班員と話し合い内容をまとめていくことが出来たのは良かったと思います。発表で使ったパワーポイントはあまり使いこなしていないので身に付けていきたいです。発表は一番ということもあり、勝手もわからず緊張しました。自分が発表した部分は原稿だけ見て発表していたので、これからは人を見て人前で発表などを行えるようにしたいです。今後あるグループワークなどでは積極的に話し合いに参加し、人をリードする力を身に付けていきたいと思います。

日本大学 産業経営学科 吉田 麗奈

今回の報告会の発表は今まで班の同期や先輩方と協力して時間をかけて完成させた発表だったので、終わった後に大きな達成感を得ることができました。
 私たちの班は一番目の発表だったので、特に緊張しました。本番の前に通してやってみた見たときには、確りと出来たところも、本番は大勢の人の前だったので、緊張してしまい、少し噛んでしまいました。だから、これからもっと人前で話すという場数を重ねていって、人前で話すことに慣れていきたいと思いました。今回、ワークショップで講演してくださった講師の方々は人前で台本も見ずに堂々と話していたので、私もこの講師の方々のように話せるようになることを目標にして頑張っていきたいと思います。
 次に、他の班の発表を聞いての感想です。まず、同期で話すのがとても上手な人がいました。その人は、ずっと原稿を見ているのではなく、前を見ながら話していて、表情にも気を付けて話していたので、私も見習いたいと思いました。また、他の班のパワーポイントも写真を取り入れるなど様々な工夫がされていて、見習えるところがたくさんあったので、これからパワーポイントを作る際に生かしていきたいと思いました。

日本大学 経済学科 １年 渡辺 周平

ワークショップ報告会本番では、大勢の人の前で話す機会がいままでなかっただけにすごく不安な気持ちや緊張がありましたが、本番直前まで練習をしたことと、いままでの入念な班活動が自信となって、壇上に立ったときは頭が真っ白になるほどの緊張はありませんでした。発表を終えた後、非常に大きな達成感を感じられ、このサークルに入ってよかったと思えました。報告会までの班活動の中で、大変な思いもしましたが、班の先輩や同期の人柄がよく１５班そのものの雰囲気が居心地の良いものだったので報告会のあとには、班活動が終わってしなったことの寂しさも感じました。今回の反省点として、自分の意見をあまり反映させられなかったことが挙げられます。前日などの大事な時に限って都合がつけずに参加できなかったりしたので、もっと先を見通してバイトの休みを入れるなど、予定を早めに調整して活動に参加していけるようにしたいです。

今回の報告会を通し、大きく自分自身に変わったことはないようにおもえますが、確実に自分の自信につながる経験ができたと思います。

（１６班）

日本大学　経済学科　1年　清水陸生

 3ヶ月前の自分は受験に失敗し、就職に向けて非常に不安を感じていた。何をすればいいのだろうと悩んでいた時に『経営研究会』の説明会・新入生歓迎会に勧誘された。説明会・新歓、両方とも参加させて頂いたが『就職率100％』という言葉や、同じ班の先輩方の人柄に惹かれてこのサークルに入る事を決意した。

そして初めての活動が今回のWSだった。主たるテーマは『私の大学生活4年間』で多くの先輩方や社会人のお話を聞くと、今では社会で大きく活躍してらっしゃるけれど、学生時代は今の自分と同じような悩みを抱えていたという事を知れた事が大きかった。というのも、現時点では悩みや不安があってもここで頑張れば社会で活躍できるという事を知れて少しほっとしたからだ。また社会人のお話を聞いた後に班の中でそれについてディスカッションする機会があったのも自分のためになっていると感じた。お話を聞いて多くの事を感じてそれを他の人と共有することで、新たな発見や気づきが出てきたし特に同じ班の先輩の意見はとても刺激になった。

 ただ報告会に向けての作業は大変だなぁと感じる事が多かった。新規生だけで作った原稿は先輩から多くの指摘、修正を受け、PPの作成も一つ一つの言葉を選ぶのにもたくさん時間をかけるなど、さっそく壁にぶつかった。しかしこれもそのサークルならではの機会だし、成長できるチャンスだと思って頑張る事ができた。迎えた報告会では大きなミスなく自分達なりにはやりきる事ができたと思う。緊張はしなかったが、人前で話すという良い経験ができまた成長につながったと思う。一人一人が感想を話す際に新規生と既存生の話し方、具体的にはハキハキ、堂々としてるなどで大きな違いを感じたが、それもまた刺激になって頑張ろうと思えた。

今回のWSは今後の活躍を続けていくうえでとても良い経験になったし、自分の成長にもつながったと思う。これからも様々な活躍があるが、積極的に参加して『人間力』を高めていきたい。

ありがとうございました。そしてよろしくお願いします！

日本大学　経済学科　1年　吉田真唯

　今回のwsに参加して、自分の大学生活をより有意義なものにしたいという思いが強くなった。

wsに参加する前は、退屈そうだな、としか考えていなかったが、5月29日に行われた高野菜摘様のお話しをお聞きしてws以前の私の考えは浅はかであったと痛感した。その後も7人の社会人の先輩方にお話しを伺って、自分の今すべきことや目標を見つけることができた。中でも、高野様や佐々木様などの社会の第一線で活躍されている女性の先輩方に直接お話を伺うことができたのが、一番の収穫であると思う。先輩方から、これからの自分に必要なたくさんの貴重なお話しを頂けたことは勿論、一言では言い表せない先輩方それぞれの魅力やオーラを肌で感じることができ、本当に貴重な体験をさせていただいたのだと実感した。

また、今回のwsで得た学びを決して無駄にしないよう「実行」していかなければならないのだと思った。

たくさんの人と関わり、たくさんのことを吸収して、自分の人間力を高めると共にこれからの4年間を将来の自分が誇れるよう精一杯活動していきたいと思う。

梅沢先生、社会人の先輩方、本当にありがとうございました。

日本大学　経済学科　1年 渡邉真生

私は6月19日のWS報告会に参加しました。

まず、自分が経営研究会に入ったのが他の班員よりも少し遅かったため、ぎりぎりで登壇資格を得ることが出来ました。必要出席回数を考慮していただき、ありがとうございました。

WS報告会に向けて、自分は3人の先輩のお話しか聞くことが出来ませんでした。しかし班員のメモを見たところ、これからの自分に役立つ、そしてこの研究会、ゼミでの役職や活動に対する取り組む姿勢などを教えてくれていました。

班の1年生と先輩の協力を得て完成させたスライドと原稿には達成感がありました。自分達が講師の方々のお話を聞いて感じたこと、大切だと思ったことを、先輩たちの経験と自分達の案や意見を擦り合わせながら完成させました。それは簡単なことではなくて、文章がまとまるのに何日も掛かりました。そしてもちろん、本番の発表でも緊張しました。大東文化大学の生徒も合わせて、あんなに多くの人を前に自分達の発表をする経験は無かったので、原稿を何度も読み直して気分を落ち着かせようとしていました。

 しかし、そのような登壇して発表することであったり、グループで意見を出し合い１つのものを完成させる。そんな機会は普通の大学生活を送っていても、こんなに早く1年生の春に経験出来ることではないと思います。この研究会に入ったからこそ出来ることだと思うと、本当に貴重な機会であると感じました。

また、報告会の時に受付や司会、また自分達のスライドの完成を尽力してくれた先輩たちに強い憧れを抱きました。「自分も来年、こんな風に後輩を引っ張っていきたい。」

「他校の仲間と団結し何かを成し遂げたい」そんなことを思うようになっていました。

この貴重な経験を活かして、自分もこの研究会で活躍できる、また講師の方々のように何かを伝えることの出来る人間になりたいと思いました。

（１７班）

日本大学 金融公共経済学科 1年 石丸恵登

今回私は経営研究会新規生として、初めてWS報告会に参加させていただきました。

報告会に至るまでの準備期間は決して易しい道のりではなく、WS班の既存生の先輩方と力を合わせて何度も原稿の推敲を繰り返しました。

報告会本番当日、大東文化会館に集まった200を超える多くの新規性は、一人一人が目をギラつかせてそれぞれの思いを胸にステージに登壇していきました。

班の報告はいずれも強く印象に残っており、パワーポイントの精密さなどには何度も驚かされました。いよいよ我々に順番が回ってきた時私は正直緊張のあまり滑舌良く喋ることができるか心配で仕方ありませんでした。しかし、同じ班の同期の緊張した顔をみると

その不安も消え、自分がしっかりしなければいけないという責任感が芽生えました。この経験から私は、チームの協調性がいかに大切なものかを学び、それは他人任せではなくチームのメンバー各々がが積極的に行動しなけば成り立たない要素であることを知りました。

班の報告は見事に成功し、とてもハキハキとした喋り方で先生にも好評を頂くことができました。今後もこの様な大切な場面にもっと自分から参加していき、自分の人間力を磨いていくことに尽力していくのと同時にこの様な機会を与えてくださった卒業生の社会人の方々と梅沢先生に御礼申しあげます。

日本大学経済学部産業経営学科1年大谷美穂

今回のワークショップを受けてみて、一番に思ったことは、社会人の方々が話してくださった内容だけでなく、存在感も濃いのだという事でした。今回、私はたくさんの社会人の方からこれからの大学生活に役立つであろう話をたくさん聞くことができました。このアカデミーだけでなく、他の場所でも活用出来るようなことばかりで、アカデミーの活動は狭い範囲の中のものでは無いのだということを話を聞いて強く感じました。

しかしながら、それ以上に印象に残ったのは話してくださった方一人ひとりが、自分に自信を持ち、堂々とした態度で話しているということでした。私は公演を聞いている間、それがどうしてなのか不思議でなりませんでしたが、公演の後、班員との意見を交わしていく中で、私はこういった機会が自分を成長させているのだということに気づきました。きっとこのことは、今までにアカデミーを卒業していった先輩たちも皆同じで、ここで様々な事を習得して、実際に今の生活で役立っていることを意味しており、そしてそれが自信に繋がっているのだと思います。

私も先輩達の様に成るべく、今後のアカデミーの活動に、今まで以上に力を入れていきたいです。

日本大学 産業経営学科1年 小西晴香

私はこのアカデミーに参加する前は、新たな場所に参加することに対する不安などがありましたが、ワークショップに参加して本当によかったと思っています。ワークショップでの社会人の方々のお話は、ためになることばかりで、私はこれからどういった大学生活を送るべきなのかが、明確になりました。そして、お話にもあったように、これからは自分から積極的に行動したいと思います。

また、ワークショップを通して自分の周りの同期の意識の高さにとても驚きました。そして、このような仲間がいる場に身を置き、頑張っていきたいと思いました。

ワークショップ報告会ではとても緊張しましたが、その分終わったときはすごく達成感があり、やってよかったなと切に思いました。

報告会の準備の段階では、班の先輩方のたくさんの協力で完成度の高いパワーポイントを作ることができ、先輩方に対する感謝の思いと、尊敬の念がありました。ワークショップと報告会を通して、よりこのアカデミーの良さを知ることができだと思います。この経験を忘れることなく、これからの大学生活に活かしていきたいと思います。そして、これからもこのアカデミーでたくさんのことを学び充実した大学生活を送って行きたいと思いました

（１８班）

日本大学　産業経済学科　1年　青柳直明

私はワークショップ報告会を終えて自分が感じ学んだことが二つあります。

1つ目は先輩方の力の凄さです。ディスカッションやパワーポイントを作成している時など質問をすると素早く且つ的確に答えてくださいました。また、文章などの手直しも一言一句まで見てくださり的確に助言をしてくださいました。先輩方が私達のためにスケジュール管理や作業などをしてくださっている姿を見て私もこんな先輩なりたいと思いました。私はこのような先輩方を見習い来年2年生になり、後輩が出来た時は先輩方が私達にやってくださったように私も後輩にぶつかっていきたいと思います。

2つ目は仲間の大切さです。作業時は、お互い励まし合い、助け合って作業を進めることができました。一人では出来ないことも、仲間とならなんとかなると思いました。

今回私はワークショップ報告会というとても貴重な経験をすることができて本当によかったです。普通の学校生活では味わえない経験が出来ました。これからも人間力を鍛えるために取り組んでいきたいと思います。

日本大学　産業経営学科　１年　伊藤晴子

　私がこの春季ワークショップを通して感じたことは２つあります。

　１つ目は経営研究会に参加することの大切さです。私は全部で４回のワークショップに参加しました。そこでお話しをしてくださった先輩方は共通してアカデミーに参加することの大切さを教えてくれました。例えば、「アカデミーに参加して縦と横のつながりができ人脈が広がった」や、「アカデミーに参加することでたくさんの経験ができ自己成長につながった」とおっしゃっていました。私はサークルの勧誘の時に１年生からインターンシップにいけることなど他の大学生では経験できないことを経験できるということでこのサークルに入ることを決めましたが、今回の講演をきいてきちんと毎回毎回の活動にしっかりと参加したいと思いました。

　２つ目は、先輩方の凄さを改めて実感しました。報告会に向けての準備をするときに班長をはじめ、２,３,４年生の方々はさすがだなと思うことが何度もありました。私たち新規生だけでは全然出来なかったことや考えても分からなかった事をすぐにこなし、また私たちに優しく丁寧に何度も教えてくださいました。今回の春季ワークショップの報告会は新規生がメインの発表でしたが先輩の方々がたくさん指導してくれたおかげで無事に成功することができました。また今回の活動を通して私もこのような人になりたいという目標ができました。

　今回の活動を通して感じたことを今後も忘れずにこれからの活動を今まで以上に頑張っていきたいと思います。

日本大学　経済学科　１年　川﨑凌

今回のワークショップを通じて、今社会で活躍されているアカデミーの先輩方が大学生活でどんなことをされていたのかを聞くことができ、先輩方がどのような雰囲気を出しているのかを感じることができました。そして先輩方を見て、自分はこれから何をすればいいのか改めて考えるきっかけとなりました。

ワークショップに来て下さった先輩方は、何事もまずはやってみるということや、誘われたら断らないという姿勢で人と関わっていくこと、他人と自分を比べ目標を明確にするということをおっしゃっていました。そこで以前の自分には、積極性や、多くの人とつながることや、目標をしっかり見据えて取り組むというところが足りていなかったように思いました。なので、先輩方のように社会で活躍するためにアカデミー活動に積極的に参加したり、自分から積極的に話しかけていったり、自分と常に向き合うようにするということを心掛けて今後の大学生活に生かしていこうと決心することができました。

社会で活躍している先輩の話を聞くということは他ではあまり経験できないし、大学生活をどのように過ごすかよく考えている学生はあまりいないのではないかというように思います。このワークショップはとても有意義なものだったと思いました。

日本大学　産業経済学科　1年　田幡将長

私がワークショップ報告会を終えて学んだことは2つあります。

1つ目は先輩方の凄さです。ディスカッションやパワーポイントを作成している時など質問をすると素早く且つ的確に答えてくださいました。また、推敲などを頼んでも嫌な顔一つせずに見てくださり助言をしてくださいました。正直、私は最初今回の報告会に対してあまりやる気がありませんでした。しかし先輩方が私達のために放課後や夜遅くまで作業をしてくださっている姿を見て、私も本気で今回の報告会に取り組もうと思いました。私はこのような先輩方を見習い来年2年生になり後輩が出来た時は、先輩方が私達にしてくださったように私も後輩に全力でぶつかっていきたいと思います。

2つ目は同期の大切さです。ちょっと疲れた時や作業をするのが嫌になった時、同じ班の同期との他愛もない会話が私の心の癒しでもありました。ワークショップ報告会当日も私は緊張していましたが一緒に登壇をする同期たちがいてとても心強く、緊張も少しほぐれた気がしました。そして私達の班の報告が終わった後、皆ホットした顔をしていて達成感がありました。

今回私はワークショップ報告会というとても貴重な経験をすることができて本当によかったです。これからも人間力を鍛えるために真摯に努力していきたいです。

日本大学　産業経営学科　1年　三裏智弘

WS報告会に参加させていただいて、これからの大学生活をどう頑張ればよいのか分かりました。具体的には、スケジューリングをしっかりと行い余裕を持った生活を送ること、自分の意見を求められたときはしっかりと考えを述べること、交流の輪を広げるために縦横のつながりを大切にしてアカデミー外の友人や先輩とも普段からたくさんコミュニケーションをとることなどです。この他にもたくさんのビジョンを描くことができ、大学生活の道筋が見えてきた気がします。

しかし、今回の活動の中で改めて自分自身の状態を思い知りました。班での活動時、木アカ、各講演会などの場でのふとしたことから、自分の中でネガティブな思考に走ってしまうことが多々ありました。その影響で他人との関わり方が分からなくなってふさぎ込んでしまったこともありました。このことは各WS活動で多くの人といつも以上に親密になれたからこそ分かったことです。自分の精神的な弱さを再確認し、改善しなければいけないと思うことができたのは自分にとっての今回の活動に参加した大きな成果です。この自分の状態をどう改善できるのか、今後たくさんの人と交流を持つことで見つけていきたいです。

日本大学　経済学科　１年　三谷成央

私が春季ワークショップに参加して良かったなと思うことは、三点あります。

一点目は、来てくださった社会人の先輩方のお話を実際にお会いしてお聞きできたことです。先輩方は、大勢の前にも関わらず堂々としていて、自信を感じられました。これからこのサークルで人間力を鍛えていき、私が社会人になっている頃には先輩方のようになっていたいなと思いました。

二点目は、実際に指導していただいた先輩方と出会えたことです。私たち新規生が活動しやすいように気を配ってくださり、またお忙しいにも関わらず報告会の準備をサポートしてくださいました。パワーポイントの作成やプレゼンテーションは高校でもしていたのですが、細かな言葉の使い方や論理的にするためのつながりなど自分が気づくことが出来なかったところを指摘していただいて、とても勉強になりました。

三点目は、同期の人たちと親しくなれたことです。ワークショップ前は、どこか、よそよそしい感じがしていました。しかし、夜まで準備をしたり、発表という同じ緊張を一緒に体験したりしたことで、とても仲良くなりました。

初めてのサークルでの活動ということで、大変なこともありましたが、これから自分の人間力を磨くために頑張ろうと思います。

日本大学　経済学科　１年　宮田秀俊

今回ＷＳを通じて、私はたくさんのことを経験することができたと思っています。社会で活躍されている先輩方のお話を聞いたり、班員と協力して報告会への準備を進めたり、と自分にとって勉強になることばかりでした。

その活動を通して、私はコミュニケーション能力の大切さを改めて知りました。私は人前で自分の考えを述べるのがあまり得意な方ではありません。しかし、積極的に発言する同期や、講演してくださった先輩方の人前で堂々と話す姿を見て、私も頑張ろうと思えました。これからのアカデミー活動で、そういった力や、自分に足りないものを身につけていきたいと思います。

また、報告会に向けての準備で、同じ班の先輩方にはたくさん助けていただきました。原稿の書き方や、パワーポイントの作り方がよくわからない私たちにいろいろなことを教えてくださる姿はとても頼もしく感じました。まだ先の話になりますが、自分が後輩を持つようになったらそんな先輩になりたいと強く思いました。

この2ヶ月を振り返ってみると、長かったようで意外とあっという間でした。木曜日以外も空いている時間に集まって、報告会への準備を進めていったり、課題を出されたのは正直大変でしたが、それだけ自分のためになったと思っています。充実した活動ができて良かったです。

（１９班）

成城大学　経済学部　３年　高野由佳

報告会は、今まであのような観客が大勢いる素晴らしい舞台に立ったことがなかった私にとって、とても貴重な体験となりました。ステージにあがる前はとても緊張していましたが、登壇してから徐々にその雰囲気に慣れ、自分の報告のときにはそれほど緊張せず話せました。しかし、練習の段階で原稿を覚えていたため、本番ではしっかり前を向いて笑顔で報告しようと決めていたのですが、それが完全には達成できなかったところは反省点です。もし今後このような機会があれば、今回の反省をふまえた報告をしたいです。

日本大学　産業経営学科　１年　内田里沙子

　春季ワークショップで社会人の先輩方から話を聞かせていただいた中で私は、自ら進んで行動することと意識して自分を変えるということを学びました。

　今回私たち1年生のみでの発表ということで、班長や先輩にアドバイスを頂きながらの作業でした。発言をすることが苦手なので、ディスカッションの場や意見を求められた際に思ったことを言うのは私の中で難しいことでした。ですが、今回の経験で話を聞いて感じたことを言葉にしていくうちに前よりも意見が言いやすく伝えやすくなりました。また小さな一歩ですが、人間力アカデミーで前に出て堂々と発表できるようになりたいです。

　そして4年間を有意義なものにするためのとても貴重なお話を聞かせていただいた中で、私自身を変えていかなければならないと思うことがたくさんありました。スケジュール管理や仲間との関係など、意識して生活していくことで4年後の私をより成長させることができると思います。私は4年後、自分に自信が持てるようになるためにこの人間力アカデミーで人間力をつけ、魅力的な人になれるように日々高い意識を持って生活していきたいと思います。

日本大学　産業経営学科　１年　小笠原皐太

今回このワークショップ報告会を終えて私は、報告会をする前の自分とした後の自分は大きく変わったと感じました。

報告会をする前の自分は自分の意見は言わない引っ込み思案な人間だったのですが同じ班の人とディスカッションすることを重ねるうちに少しずつ自分の意見をだせるようになったので成長したと思いました。

本番で発表する前の事前準備の際は、休みの日なのになんで作業しないといけないのだろう。夜遅くまで大変だな。などと考えていました。しかし報告会を終えてみるとみんなで苦労して作って発表したからこんなにも達成感があるのだなと思います。

私はこの報告会を通してたくさんのことを学びました。これからもこの人間力アカデミーでたくさんのことを学び自分を成長させていきたいです。

日本大学　金融公共経済学科　１年　櫻井智基

わたしは初め、大学に入ったら、とりあえずなんでもいいからサークルに入ろうと考えていた。そこで経営研究会という名前の響きが格好良く感じて何気なく行ってみることにした。活動内容にインターンシップやワークショップ等があることを聞き、「なんかよく分からないけど凄そう」、そんな軽い気持ちであった。

　ワークショップ説明会では卒業生社会人の方々の有り難いお話しを聞いた。当たり前のことのようなことだけど、実際に実行するには面倒なことばかりだった。ワークショップでのメインイベントである発表会には最低５回のワークショップ説明会の参加が条件であった、だがしかし、予定表を見誤り、２回しか参加することができなかった。まだまだ余裕と勘違いしていて後ろ倒しに考えていた。ワークショップ説明会のお話の中に予定はできるだけ前倒しにして行うというものがあった。まさに今の自分に足りないものがそこにはあった。このように学べる機会があったものを、不意に捨ててしまったことを非常に悔やまれる。

　発表会までにパワーポイントで素材を作る必要があった、しかし、パワポ知識もアイデア力も無に等しく、おんぶに抱っこであった。さらに予定があまり合わない追い打ちをかけた。申し訳ない気持ちでいっぱいだった。

　発表会当日、日大生、大東生の前での発表であった。人前で立つのが苦手、そもそも対人が苦手であり、緊張していた。しかし、いざ立ってみるとすらすらいけて良かったと思いました。このワークショップを通じて、わたしは仲間の大切さを学びました。

日本大学　経済学科　１年　遠山翔太

無事に報告会に参加出来て良かったです。自分はなかなかパワーポイント作成などに参加出来ませんでしたが使い方など基本的なことが知れて良かったです。自分的には日大でやったリハーサルの方が緊張しました。しかし、ホールというしっかりとした環境の中、大勢の前で話せたことはすごく大切な経験になりました。この経験は他のサークルでは絶対に出来ないし又、自分をレベルアップすることもできるサークルなのだと改めて思いました。特に人まで堂々と原稿を見ない所まで行きたいです。そしてこれからも自分のさまざまな人間力を高めて行きたいです。

日本大学　産業経営学科　１年　藤田衛

今回私はワークショップを通して社会人の方々の迫力と対応の仕方に驚きました。そして自分も積極性が上げることができ、皆と仲良くなれたと考えます。社会人の方々のお話を聞いた際に一人一人の迫力に圧倒されました、また質疑応答の際も臨機対応に対応してできていて凄いと思いました。経営研究会サークルにいると人間としてとても成長すると考えます。ワークショップの質疑応答の際も最初はとても難しかったし、とても緊張しました。しかしここで手を挙げなかったら成長をしないと思い、思いきって手を挙げました。質問を終えた後は達成感がありとても充実していました。パワーポイントを作る際もできるだけ参加し、意見を先輩に言うなどして積極的に行動ができたと考えます。パワーポイントを作る際も皆で一所懸命に力を合わせて作ったのでワークショップが始まる前よりは仲良くなって班の雰囲気も良くなったので良かったと思います。大東文化大学の人とも話すことができたのでとても楽しかったです。私はこれからも自分から進んで成長していきたいと考えます。成長を欠かさずにすることが重要だとワークショップを通してそう考えました。

日本大学　産業経営学科　１年　三木安珠

今回の春季ワークショップに参加してたくさんのことを学ぶことが出来ました。

特に、何事にも優先順位を決めて取り組むことや逆算して物事を考えて行動することが

本当に大切であることが分かりました。今まではただなんとなく大学生活を過ごしていましたが、先輩方の話を聞いてから1年後、3年後に自分はどうなっていたいかを考えて

今自分がするべきことは何であるのかということを常に意識して行動することを心がけるようにしました。また200名以上の前で登壇して発表したのは初めての経験で緊張しましたが、よい経験をすることができて本当によかったです。普通の大学1年生では経験できないようなことが出来ました。どの班の発表も素晴らしいものばかりでしたが、自分たちの班は自分たちらしく発表出来たのでよかったです。

報告会の準備期間では、班員の皆とより仲を深めることができたり、パワーポイントの作成や原稿の添削など様々な面で先輩がサポートして下さったりと、有意義な時間を過ごすことが出来ました。このような機会を与えて下さった梅沢先生をはじめ、全ての方々に感謝します。本当にありがとうございました。

（２０班）

日本大学　経済学科　1年　河野こころ

私は、今回のワークショップに参加し、社会人や先輩方のお話を聞くことができて本当に良かったと思います。他の班が報告していたように、参加する以前は、大学生活でこれからのために何をすれば良いのか分からず、不安ばかりでした。しかしお話を聞き、班でディスカッションを重ねたことで、これからするべきことが明確となり、目標を持って行動することができるようになりました。また、人の前に出て話すことが苦手だったのですが、今回何度も人の前に出て話す機会があったので、最初に比べると苦手意識が薄くなったように感じます。私は、苦手なことはそのままにしてしまう性格なのですが、この経験を通して、苦手なことにでもどんどん挑戦し、克服できるように今後は努力していこうと考えるようになりました。

さらにこのワークショップを通じて、多くの人と関わることが出来ました。まず、同じ班の先輩方は、どのように話し合ったら良いのか教えてくださり、発表の際には細かなアドバイスをしてくださいました。そのおかげで、今回のワークショップを無事に終えることが出来たと思います。私も後輩が出来た時は、先輩方のような指導ができるようになりたいと思いました。また、1年の班員とは、多くの議論を重ねる中で、時には意見がぶつかることがありましたが、自分が考え付かないような意見をたくさん聞くことができ、考え方の幅が広がったように思います。ワークショップを通して、多くの方と関わり、また様々なことを経験することが出来ました。この経験を活かして、今後の大学生活や経営研究会での活動を頑張っていきたいと思います。

日本大学　経済学科　1年　権瓶雪乃

私はこのサークルに友達とではなく、1人で入りました。入った理由は単純で、就職100%という言葉に興味を持ったからです。なので、どのような活動をしているか全くと言っていいほど知りませんでした。 最初は話す人もあまりいなくて、やっていけるかなと不安でしたが、WSで先輩方の話を聞いたり、班で自分の考えをまとめて話したりディスカッションをしたりと回を重ねていくうちに、自然と周りとも打ち解けていけるようになり、楽しいと感じるようになりました。

 講演をしてくださった先輩方は、皆堂々と恥ずかしがらずにわかりやすく話していて、そのようになれたのもこの経営研究会に入ったからだと聞き、このサークルはすごいなと感動したと共に、自分もこうなりたいと強く思いました。

 ほとんど大勢の前で話すような機会は無かったので、報告会で失敗したりしないだろうかと不安でした。原稿もほとんど書いたことが無かったのでとても大変な作業でしたが、先輩方が添削やパワーポイントの作成、指導など本当に色々な面でサポートしてくださり、今回無事にミスなく報告会を終わらせることが出来たので、感謝の気持ちで一杯です。

 今回のWSを通して、本当に周りとの協力がいかに大切かということが実感出来ました。人とこんなに真面目にディスカッションしたのも初めてでしたし、人前で話すということにあまり抵抗がなくなりました。サークル活動はまだまだこれから沢山あるので、吸収出来ることは沢山して、講演をしてくださった先輩方のように素晴らしい人になれるように頑張ります。

日本大学　金融公共経済学科　1年　戸田直宏

私は今回ワークショップに参加して良かったと心の底から思います。その理由は2つあります。1つ目の理由は先輩社会人の素晴らしい話を聞くことができたからです。以前の私は大学生活に対して、消極的で、受動的でした。しかし今回のワークショップを通して今のままではいけないと感じました。それは社会で活躍されている先輩社会人は皆、学生時代積極的に行動していたことを知ったからです。これからは私も積極的に行動していきたいです。

2つ目の理由はワークショップを通して色々な、大切な出会いがあったからです。普段の大学の授業だけでは出会うことのない他大学の学生と親睦を深めることができました。先輩社会人もおっしゃっていた通り、人との出会いを大切にしたいと思います。先輩社会人の話はとても勉強になるものでしたが、私はワークショップでの出会いが一番嬉しかったです。

　しかし私はこのワークショップに参加して、テーマを自分で決められればもっと充実したワークショップになるのではないかと思いました。参加する学生が興味のあるテーマに沿ってワークショップが行われれば、学生も参加する意欲が上がり、参加率もあがるのではないかと、ふと思いました。また、自分たちでテーマを決めることで、責任感を与え、積極的にワークショップに参加するようになると思います。

日本大学　経済学科　1年　半澤直希

私はこのワークショップに参加して特に印象に残ったお話がありました。それは5月29日に大東文化会館で行われた遠藤菜摘様のお話です。遠藤様のお話は、とても深く、特に人の心理などを勉強し、その学びを日常生活に活かしているというお話を聞いて、自分たちが大学で勉強しているようなことを直接的に自分の生活に取り入れている人がいることに驚き、そしてすごいなと感じました。また遠藤様はお話のなかで、人の周りに起こる出来事のストレスを数値化して、自分の体調管理の手助けに役立てたと仰っていました。自分も常に健康的な体を保つために、ぜひ実践してみようと思います。また、遠藤様のお話が印象に残ったのは、お話の内容だけでなく、話し方や立ち振る舞いにもあったと思います。聞いている人が引き込まれるような話し方で、明るくハキハキと話し、自分の話が飽きないように常に語り掛けるようにお話していました。聞いている人を気遣うような優しい工夫もたくさん見ることが出来ました。今後自分も発表している人を注意深く、観察し、どのような工夫をしているのか見て盗み、自分の話し方に活かしていきます。

最後に私は今回のワークショップにあまり積極的に参加することが出来ませんでした。しかし話を聞くと毎回素晴らしい発見があり、少しでも自分の力になることが出来たと思います。今後は経営研究会の活動に自分から積極的に参加し、多くの仲間と共に自分の意識を高めていきたいと思います。

日本大学 経済学部 1年 森田真聖

私はワークショップを通して、普段の学校生活では得られないとても良い経験ができたと思います。社会でご活躍される方々から直に話をお聞きし、自分自身とのとても大きな差を感じるとともに、求められている人柄や雰囲気、さらに人間力を高めるためには、大学生活をどのような心がけで過ごせばいいかなど様々なことを学びました。

近い将来自分自身も後輩達に堂々と教えをとくことができるようになりたいと思うと同時に、このような素晴らしい人達に追いつけるのかという不安も生まれました。

またワークショップを通しての班活動では、先輩方の偉大さを知ることになりました。何をするにも仕事が早く、適切なアドバイスを送りアカデミーの先輩方は皆スーパーマンのようだと感じました。ワークショップ報告会の当日では、強い光が自分たちをライトが照らし、その場に立つだけで足が竦みました。人前で発表することは経験がなく、頭が真っ白になり細かい記憶はないですが、足の震えだけは覚えています。

ワークショップが終了した後、テストが終わった時のような達成感を得ました。自分にとってそれほど大きなことを達成したのだと驚くと共に、いくつかの反省すべき点も生まれてきました。それらを今後のアカデミー活動を通して改善し、人間力を高めて行けたらなと思います。